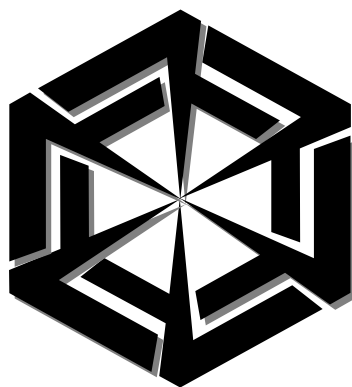


須坂市の教育



須坂市教育委員会

目 次

I	須坂市の概要	3
II	教育委員会	
	1 教育委員	5
	2 事務局・教育機関の機構	5
	3 事務局・教育機関の事務分掌	6
	4 事務局・教育機関の市費職員数	8
III	教育財政	
	1 平成23年度一般会計当初予算	9
	2 平成23年度教育委員会に係る歳出項目別当初予算	10
	3 一般会計および教育費決算額の推移	12
IV	学校教育課	
	1 基本方針	13
	2 重点施策	13
	3 小・中学校	13
	4 高等学校	27
	5 いじめ等対策事業	27
	6 小・中学校巡回教育相談	27
	7 須坂市フレンドリールーム	28
	8 教育相談室	28
	9 外国人講師（英語指導助手）	29
	10 交流事業	29
	11 育英事業	30
	12 児童センター・地域児童クラブ・委託児童クラブ	30
	13 学校給食センター	31
V	子ども課	
	1 子育て支援事業	34
	2 保育園・幼稚園	42
	3 子ども手当等の支給	44
	4 児童・青少年健全育成事業	45
VI	生涯学習	
	1 沿 革	48
	スポーツ課	
	2 生涯学習の推進	49
	3 文化財保護	50
	4 図書館	56
	5 博物館	59
	6 学校体育施設利用状況	61
VII	人権同和	
	1 人権同和教育推進計画	63
	教 育 課	
	2 沿 革	64
	3 具体的事業	65
	4 都市宣言	67
	5 須坂市人権同和行政機構図	68
VIII	歴代教育委員名簿	
	1 歴代教育委員	69
	2 歴代委員長・職務代理・教育長	72

I 須坂市の概要

位置・自然等

須坂市は長野県の北東部に位置し、東は上信火山帯を挟んで群馬県嬭恋村と、西と南は日本一の長さを誇る千曲川を隔てて県庁所在地の長野市と、北は小布施町・高山村と接している。

市域は、上信越高原国立公園に属する険しい山並みの東部山岳地帯と、そこから流れ出るいくつもの河川によって形成された扇状地、及び千曲川によって形成された沖積地で構成されている。

東部山岳地帯は、菅平高原とともにウィンタースポーツやテニスを中心としたリゾート地である峰の高原、日本の滝100選に選ばれている須坂市指定名勝「米子の瀑布（滝）」、レンゲツツジが咲き誇る破風高原等大自然の宝庫である。扇状地帯は、リンゴやブドウを中心とした豊かな果樹園が広がり、また、その中心には住環境の優れた市街地が形成されている。沖積地帯は、上信国境から流れ出る豊かな清流による稲作地帯が広がっていたが、現在は果樹園への転換が図られている。

気候は、雨が少ない典型的な内陸性気候で、年平均気温は11度だが、夏の最高平均気温は31度、冬はマイナス10度以下になることもある。このように気温の日較差が大きいことと、雨が少ないこと、さらには砂礫土壌という水はけの良さから、果樹生産に最適な地域として知られている。

沿革

須坂市に人が住みはじめたのは、旧石器時代からであるが市内ではこの時期に該当する遺跡は1箇所しか見つかっていない。今から約12,000年前、日本で最初に土器が作り始められた縄文時代草創期と呼ばれている時期に至ると、仁礼の須坂市指定史跡「石小屋洞穴」から日本でも最古級の土器が出土している。それから、縄文時代には山地・山麓を中心にあちこちに遺跡を残したが、今から約2,000年前、弥生時代に入ると、稲作の始まりとともに須坂園芸高校校庭遺跡など豊富な湧水と千曲川の低湿地をひかえた扇端部にあたる場所に生活の跡を残している。

古墳時代は、石を積み上げて造った積石塚とよばれている古墳が河東地域に広く造られ、その数が多いことから積石塚の中心地域と考えられている。特に積石塚古墳としては東日本で最大・最古級とされる長野県史跡「八丁鎧塚」からは、極めて類例の少ない大陸との結びつきをうかがわせる帯金具が出土している。また本郷大塚古墳からは県内でも屈指の多量の馬具や大刀などが出土している。

鎌倉・室町時代は、信濃源氏として知られる井上氏（城跡・館跡は長野県史跡）をはじめ、須田氏・高梨氏などの武士が勢力を競い合っていた。現在の中心市街地は、この頃軍事目的で整備された主要な街道の交差点に発達した街道町がその原点と考えられている。

江戸時代は、須坂藩主堀氏が現在の市域の多くを含む13ヶ村10,053石を治めていた。また、市内福島を起点として上洲大笹に至る大笹街道は、江戸に至る日数が北国街道より1日少ないため、かかる費用も少なく済むことから、主に穀物の流通ルートとして栄え、活力のある経済と文化の基礎が築かれていった。

明治時代に入ると、傾斜地という市街地の特性を利用した水車による器械製糸業が発達し、岡谷とともに世界に知られる生糸の町として栄え、大正時代にその全盛期を迎えた。その後、製糸業の衰退とともに電子工業へと転換が図られ、現在に至っている。

昭和29年4月1日に市制を施行し、翌30年に2村、同46年に1村を編入し、現在の市域となっている。

平成5年3月、上信越自動車道（「須坂長野東IC」）が開通し、新世紀における工業、農業、観光の町として一層の発展を目指している。

人 口 等

	世 帯 数 (世帯)	人 口 (人)			対 前 回 比 (%)	一世帯当たり 人 員 (人)
		総 数	男	女		
昭和45年	11, 144	45, 782	21, 985	23, 797	103. 01	4. 10
50年	12, 836	49, 513	23, 941	25, 572	108. 14	3. 85
55年	14, 106	52, 543	25, 484	27, 059	106. 11	3. 72
60年	14, 648	53, 611	26, 083	27, 528	102. 03	3. 65
平成 2 年	15, 346	53, 662	26, 141	27, 521	100. 10	3. 50
7 年	16, 333	53, 842	26, 241	27, 601	100. 33	3. 30
12年	17, 323	54, 207	26, 420	27, 787	100. 68	3. 13
17年	17, 860	53, 668	26, 292	27, 376	99. 00	3. 00
22年	18, 106	52, 168	25, 466	26, 702	97. 20	2. 88

資料：国勢調査

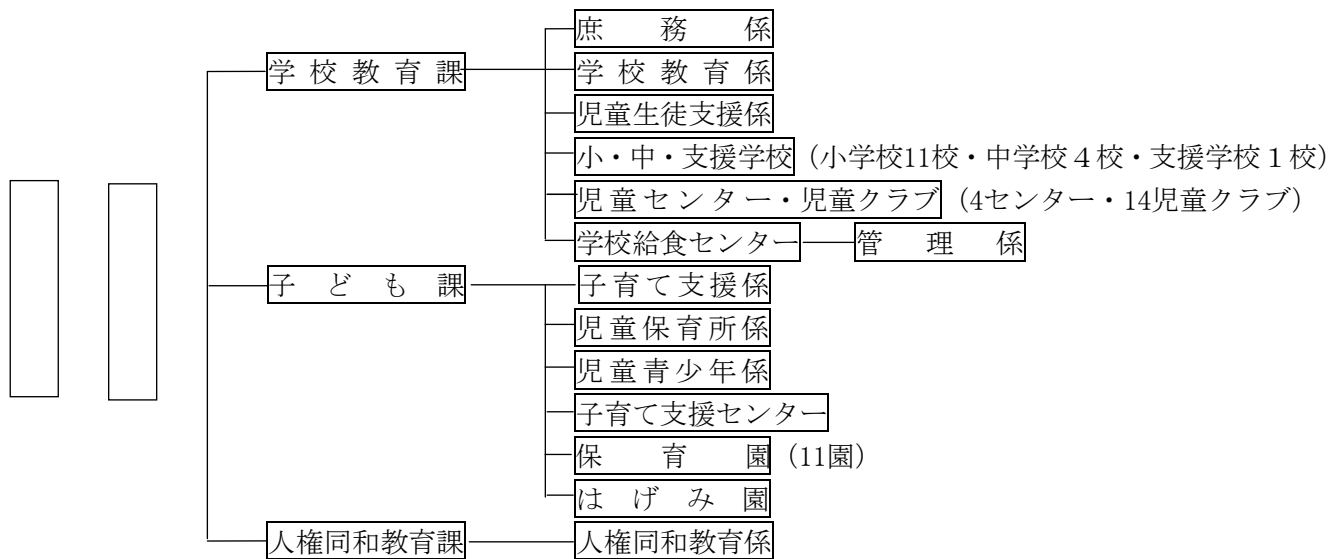
Ⅱ 教育委員会

1 教育委員

(平成23年10月1日現在)

役 職 名	氏 名	住 所	就任年月日	備 考
委 員 長	永井 和男	東横町1431-1	17. 6. 21	委員長職務代理 20. 10. 1 ~ 委員長 22. 10. 1 ~
委員長職務代理	清水美奈子	塩川町 342-12	19. 10. 1	委員長職務代理 22. 10. 1 ~
委 員	湯本 由美	光ヶ丘ニュータウン 338-173	20. 10. 1	
委 員	業田 昭映	南原町 353	22. 10. 1	
教 育 長	渡邊 宣裕	亀倉町156-14	18. 4. 1	教育長 18. 4. 1 ~

2 事務局・教育機関の機構



3 事務局・教育機関の事務分掌

学校教育課	庶務係	(1) 公印に関する事。 (2) 委員会の会議に関する事。 (3) 委員会の規則等の制定、改廃に関する事。 (4) 委員会関係職員の人事給与に関する事。 (5) 学校その他教育機関の設置及び廃止に関する事。 (6) 学校その他教育財産の取得及び処分計画に関する事。 (7) 請願及び陳情に関する事。 (8) 栄典に関する事。 (9) 県費教職員の人事関係内申に関する事。 (10) 学校医、学校歯科医、学校薬剤師に関する事。 (11) 教職員住宅に関する事。 (12) 奨学金貸与事務に関する事。 (13) 文書の収受、発送に関する事。 (14) 教育に係る調査及び基幹統計に関する事。 (15) 委員会事務局の庶務に関する事。 (16) 課の庶務に関する事。 (17) その他、他の課に属さない事項並びに各課の連絡調整に関する事。
	学校教育係	(1) 学校の学級編制、教育課程、学習指導、生徒指導及び職業指導に関する事。 (2) 通学区域に関する事。 (3) 学校経営の指導に関する事。 (4) 校長その他教職員の指導と助言研修に関する事。 (5) 教科書及び教材備品に関する事。 (6) 学齢簿の編成保管に関する事。 (7) 学齢児童生徒の就学退学等に関する事。 (8) 学校の整備及び保全に関する事。 (9) 学校施設の財産の管理に関する事。 (10) 学校施設の貸与に関する事。 (11) 学校の行事に関する事。 (12) 学校保健、独立行政法人日本スポーツ振興センター及び学校給食に関する事。 (13) 学校給食センターとの連絡調整に関する事。 (14) 就学前児童の入学に関する事。 (15) その他学校教育に関する事。

	児 童 生 徒 支 援 係	(1) 就学援助に関すること。 (2) 就学相談委員会に関すること。 (3) 就学相談に関すること。 (4) 中間教室に関すること。 (5) 児童センターとの連絡調整に関すること。 (6) 児童クラブに関すること。 (7) 教員補助員に関すること。 (8) 不登校対策に関すること。 (9) スクールカウンセラーに関すること。
子 ども 課	子育て支援係	(1) 子育て支援及び支援施策の総合調整に関すること。 (2) 次世代育成支援に関すること。 (3) 児童福祉及び児童の相談に関すること。 (4) 教育相談に関すること。 (5) すこやか相談に関すること。 (6) 児童虐待防止に関すること。 (7) 子育て支援センターとの連絡調整に関すること。 (8) 課の庶務に関すること。 (9) その他子育て支援に関すること。
	児童保育所係	(1) 保育所運営審議会に関すること。 (2) 保育所の施設整備に関すること。 (3) 保育所への入所退所及び保育料の徴収に関すること。 (4) 保育所の給食献立及び調理指導に関すること。 (5) 保育所との連絡調整に関すること。 (6) 私立保育所及び認可外保育所の育成指導に関すること。 (7) 私立幼稚園に関すること。 (8) 心身障害児母子通園訓練施設との連絡調整に関すること。 (9) 児童遊園に関すること。 (10) 子ども手当、児童手当、児童扶養手当及び特別児童扶養手当に関すること。
	児童青少年係	(1) 児童青少年総合対策の企画及び総合調整に関すること。 (2) 青少年問題協議会に関すること。 (3) 児童青少年育成関係機関及び団体との連絡調整に関すること。 (4) 児童青少年育成センターに関すること。 (5) 児童青少年育成市民会議に関すること。 (6) 農業小学校に関すること。 (7) その他児童青少年に関すること。
人 権 同 和 教 育 課	人 権 同 和 教 育 係	(1) 人権・同和教育の総合的な企画、推進に関すること。 (2) 同和教育関係機関、団体等との連絡調整に関すること。 (3) 教育関係職員等の人権・同和问题研修に関すること。 (4) 課の庶務に関すること。 (5) その他人権・同和教育に関すること。

名 称	分 掌 事 項
学校給食センター	(1) 学校給食センターの維持管理に関すること。 (2) 学校給食センターの運営に関すること。 (3) その他学校給食センターに関すること。

4 事務局・教育機関の市費職員数

(平成23年4月1日現在)

区 分	職 員 数 (人)															合 計	
	教 育 長	教 育 次 長	課 所 館 園 長 長 長 長	事 務 職 員	管 理 技 術 員	調 理 技 術 員	体 育 技 術 員	保 育 士	児 童 厚 生 員	嘱 託							
										所 長	相 談 員	指 導 員	事 務 員	技 術 員	保 育 士		厚 生 員
教 育 長	1																1
教 育 次 長		1															1
学 校 教 育 課			1	8(1)							5(2)	4					18
指 導 主 事												2					2
庶 務 係				2								1					3
学 校 教 育 係				4(1)													4
児 童 生 徒 支 援 係				2							5(2)	1					8
学 校 給 食 セ ン タ ー			1	1													2
学 校 1 6 校					6									9			15
児 童 セ ン タ ー			1				(1)		3(1)	3						1(1)	8
子 ど も 課			1	8(2)							8(1)	4(1)	1				22
子 育 て 支 援 係				2(1)							7(1)	(1)					9
児 童 保 育 所 係				4(1)								3	1				8
児 童 青 少 年 係				2							1	1					4
は げ み 園										(1)					1		1
保 育 園 1 1 園			11			10		46						1	57		125
子 育 て 支 援 セ ン タ ー								1(1)		(1)					1(1)		2
人 権 同 和 教 育 課			(1)	1							1(1)						2
人 権 同 和 教 育 係				1							1(1)						2
計	1	1	15	18	6	10	0	47	3	3	14	8	11	59	1		197

() 内は兼務職員の数 (外書き)

Ⅲ 教育財政

1 平成23年度一般会計当初予算

(単位：千円)

歳 入			歳 出		
款	予 算 額	比率 (%)	款	予 算 額	比率 (%)
1. 市 税	5,802,660	29.17	1. 議 会 費	268,321	1.34
2. 地 方 譲 与 税	214,000	1.07	2. 総 務 費	1,837,260	9.23
3. 利 子 割 交 付 金	25,000	0.12	3. 民 生 費	6,532,128	32.84
4. 配 当 割 交 付 金	6,300	0.03	4. 衛 生 費	1,503,224	7.55
5. 株式等譲渡所得割 交 付 金	3,000	0.01	5. 労 働 費	200,790	1.00
6. 地方消費税交付金	485,000	2.43	6. 農 林 水 産 業 費	614,477	3.08
7. ゴルフ場利用 税 交 付 金	5,700	0.02	7. 商 工 費	1,422,596	7.15
8. 自動車取得税 交 付 金	65,000	0.32	8. 土 木 費	2,595,761	13.05
9. 地方特例交付金	61,000	0.30	9. 消 防 費	814,993	4.09
10. 地 方 交 付 税	4,820,000	24.23	10. 教 育 費	2,099,815	10.55
11. 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	10,000	0.05	11. 公 債 費	1,980,635	9.95
12. 分 担 金 及 び 負 担 金	407,764	2.05	12. 予 備 費	20,000	0.01
13. 使 用 料 及 び 手 数 料	340,471	1.71			
14. 国 庫 支 出 金	2,059,872	10.36			
15. 県 支 出 金	1,270,693	6.39			
16. 財 産 収 入	18,390	0.09			
17. 寄 附 金	1,410	0.07			
18. 繰 入 金	695,576	3.50			
19. 繰 越 金	300,000	1.50			
20. 諸 収 入	2,058,864	10.35			
21. 市 債	1,239,300	6.23			
合 計	19,890,000	100.00	合 計	19,890,000	100.00

2 平成23年度教育委員会に係る歳出項目別当初予算

(単位：千円)

項	目	予 算 額	構 成 比 (%)	財 源	
				特定財源	一般財源
教 育 総 務 費	1. 教 育 委 員 会 費	4,365		0	4,365
	2. 事 務 局 費	99,259		132	99,127
	3. 教 育 奨 励 費	127,280		15,938	111,342
	4. 教 員 住 宅 費	3,600		2,199	1,401
	計	234,504	5.33	18,269	216,235
小 学 校 費	1. 学 校 管 理 費	198,896		1,110	197,786
	2. 教 育 振 興 費	91,387		1,111	90,276
	計	290,283	6.60	2,221	288,062
中 学 校 費	1. 学 校 管 理 費	104,944		282	104,662
	2. 教 育 振 興 費	65,679		1,679	64,000
	計	170,623	3.88	1,961	168,662
特別支援学校費	1. 特 別 支 援 学 校 費	5,917			5,917
	計	5,917	0.13		5,917
幼 稚 園 費	1. 幼 稚 園 費	40,338		8,443	31,865
	計	40,338	0.92	8,443	31,865
保 健 体 育 費	1. 保 健 体 育 総 務 費	63,278			63,278
	4. 学 校 給 食 費	461,514		275,948	185,566
	計	524,792	11.93	275,948	248,844
人権同和教育費	1. 人 権 同 和 教 育 総 務 費	11,622			11,622
	2. 学 校 人 権 同 和 教 育 費	1,968			1,968
	3. 社 会 人 権 同 和 教 育 費	3,603		225	3,378
	4. 公 民 館 人 権 同 和 教 育 費	1,663			1,663
	計	18,856	0.43	225	18,631
児 童 福 祉 費	1. 児 童 福 祉 総 務 費	120,686		23,461	97,225

	2. 児 童 措 置 費	1,663,908		1,309,352	354,556
	3. 保 育 所 費	1,202,190		470,938	731,252
	4. 子 育 て 支 援 セ ン タ ー 費	14,110		5,505	8,605
	5. 児 童 ク ラ ブ 費	51,385		31,647	19,738
	6. 児 童 セ ン タ ー 費	56,103		12,726	43,377
	8. 母 子 通 園 訓 練 施 設 費	5,570			5,570
	計	3,113,952	70.78	1,853,629	1,260,323
合 計		4,399,265	100.0	2,160,696	2,238,539

3 一般会計および教育費決算額の推移

年 度	決 算 額		
	一 般 会 計 (千円)	教 育 費 (千円)	対一般会計比 (%)
昭和59	10,450,257	1,824,032	17.5
60	11,059,058	1,688,160	15.3
61	11,341,883	1,504,901	13.3
62	11,722,685	1,780,240	15.3
63	12,076,310	2,385,195	19.7
平成元	13,921,266	2,865,463	20.5
2	16,081,856	4,030,938	25.1
3	17,554,432	4,873,042	27.8
4	17,785,864	3,142,921	17.7
5	18,702,255	3,034,661	16.2
6	18,233,188	2,971,518	16.3
7	19,707,744	2,816,113	14.3
8	20,349,345	2,215,632	10.9
9	21,350,793	2,086,194	9.8
10	20,550,967	2,029,825	9.9
11	22,542,118	2,138,582	9.5
12	20,419,360	2,387,240	11.7
13	21,428,183	2,254,432	10.5
14	19,827,920	2,865,173	14.45
15	18,344,118	2,366,581	12.90
16	19,006,693	1,976,486	10.40
17	18,749,692	2,423,921	12.93
18	19,965,065	2,592,455	12.98
19	18,602,322	2,654,745	14.27
20	17,734,280	2,235,598	12.61
21	19,924,768	2,605,183	13.07
22	20,701,016	2,608,586	12.60
23	20,827,562	2,638,554	12.66

IV 学校教育課

1 基本方針

- (1) 全教育活動を通して、豊かさとたくましさをもった児童・生徒の育成の推進
- (2) 児童・生徒の個性と創造力の育成の推進
- (3) 人間尊重の心情の育成の推進
- (4) 国際性をもって平和を愛する児童・生徒の育成の推進
- (5) 郷土に親しみ、郷土の発展に貢献する児童・生徒の育成の推進

2 重点施策

伝統である教育尊重の気風の上に立ち、社会的要請に応える教育内容の充実を図り、主体的・自主的に対応できる人づくりに努めるため、次の施策を推進する。

- (1) 教育環境の整備、教育機器、備品の整備充実の推進
- (2) 体験学習の重視
- (3) 人権同和教育の徹底
- (4) 特別支援教育の推進
- (5) 教職員の研修
- (6) 児童生徒指導、学校不適応に対する指導等教育相談の充実推進

3 小・中・須坂支援学校

(1) 市立学校一覧表

(平成23年5月1日現在)

学 校 名	所 在 地	創 立 年 月	学 校 長 名	教 頭 名	教 職 員 数 (休職者等を含む)	
					県費	市費
須坂小学校	大字須坂780	明治6.11	白 鳥 徹	寺 尾 文 子	15	3
小山小学校	臥竜1-3-1	明治6.12	野 澤 幹 雄	千 葉 節 子	27	4
森上小学校	墨坂3-1-1	昭和9.7	古 川 裕 子	上 野 浩	22	2
日滝小学校	大字日滝1648	明治6.11	古 畑 一 彦	丸 山 穰	19	2
豊洲小学校	〃 小島473	明治7.2	畠 山 信 重	藤 牧 博 和	17	3
日野小学校	〃 塩川151	明治22.	片 桐 秀 一	小 平 直 司	21	5
井上小学校	〃 幸高292	明治7.2	山 岸 深 志	竹 前 金 三	18	3
高甫小学校	〃 八町1916	明治7.3	堀 込 明 紀	高 森 広 治	14	2
旭ヶ丘小学校	旭ヶ丘12-2	昭和46.6	山 岸 周 一	嶋 田 秀 樹	15	2
仁礼小学校	大字仁礼96-2	明治6.	古 幡 民 子	丸 山 和 男	18	3
豊丘小学校	〃 豊丘1070	明治6.12	倉 澤 克 彦	児 玉 明 代	12	2
計					198	31

学 校 名	所 在 地	創 立 年 月	学 校 長 名	教 頭 名	教 職 員 数 (休職者等を含む)	
					県費	市費
常 盤 中 学 校	大字日滝61	昭和22. 4	久 保 田 正 治	寺 島 寿 一	22	6
相 森 中 学 校	〃 日滝2082	昭和22. 4	小 山 修 二	酒 井 謙 一	27	7
墨 坂 中 学 校	墨坂南2-19- 1	昭和33. 5	小 林 雅 彦	塚 田 道 彦	33	6
東 中 学 校	大字亀倉6-6	昭和33. 5	伴 野 健	網 干 直 人	16	6
須坂支援学校	〃 須坂780	平成23. 4	白 鳥 徹	高 山 和 浩	6	3
計					104	28
合 計					302	59

※県費の教職員数には補充職員、非常勤講師は含めない。※市費の職員数は学校図書館員を本務校に含む。

(2) 児童・生徒数

(平成23年5月1日現在)

学 校 名	総 数		1 学年		2 学年		3 学年		4 学年		5 学年		6 学年	
	学級数	児 生 徒 数	学級数	児 生 徒 数	学級数	児 生 徒 数	学級数	児 生 徒 数	学級数	児 生 徒 数	学級数	児 生 徒 数	学級数	児 生 徒 数
須坂小学校	2 8	5 190	1	28	2	38	1	19	1	1 33	2	1 37	1	3 35
小山小学校	2 17	4 457	2	55	3	2 73	3	82	3	1 78	3	1 80	3	89
森上小学校	2 13	5 371	2	54	2	51	2	68	2	2 62	2	1 63	3	2 73
日滝小学校	2 12	5 294	2	43	2	50	2	2 48	2	2 47	2	1 49	2	57
豊洲小学校	1 11	3 245	1	28	2	1 41	2	43	2	2 39	2	47	2	47
日野小学校	3 12	14 345	2	2 50	2	5 66	2	1 54	2	1 69	2	2 49	2	3 57
井上小学校	2 11	6 280	2	1 48	2	48	2	1 46	2	49	2	3 56	1	1 33
高甫小学校	1 8	1 189	1	29	1	26	1	1 28	2	39	2	36	1	31
旭ヶ丘小学校	2 9	3 209	1	1 23	2	37	2	2 44	1	31	1	35	2	39
仁礼小学校	2 12	3 292	2	42	2	50	2	3 41	2	55	2	53	2	51
豊丘小学校	1 6	2 97	1	15	1	1 13	1	17	1	1 19	1	15	1	18
計	20 119	51 2,969	17	4 415	21	9 493	20	10 490	20	10 521	21	9 520	20	9 530
常盤中学校	2 11	9 348	4	113	4	6 124	3	3 111						
相森中学校	4 14	15 464	5	5 145	4	4 157	5	6 162						
墨坂中学校	3 16	13 506	6	4 184	5	3 161	5	6 161						
東 中 学 校	2 6	9 208	2	7 68	2	60	2	2 80						
計	11 47	46 1,526	17	16 510	15	13 502	15	17 514						
合 計	31 166	97 4,495												
区域外就学	菅平小学校	6	8	1	2	1	2	1	1	1	1	0	1	2
	菅平中学校	3	3	1	0	1	2	1	1					

上段は、特別支援学級（外書き）

(3) 児童・生徒数の推移

(各年度 5月1日現在・区域外就学は3月31日現在)

年度 学校名	14 年度		15 年度		16 年度		17 年度		18 年度		19 年度		20 年度		21 年度		22 年度		23 年度	
	学級数	児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数
須坂小学校	2 12	3 290	2 12	4 289	2 12	3 282	2 12	3 284	2 12	4 267	2 12	3 250	2 10	7 232	2 9	6 205	2 9	5 196	2 8	5 190
小山小学校	1 12	3 388	1 13	3 398	1 14	4 414	1 15	4 425	2 16	8 453	2 16	6 457	2 17	7 473	2 18	8 480	2 18	5 476	2 17	4 457
森上小学校	2 12	2 335	1 12	1 337	2 13	3 356	2 13	3 365	2 13	5 378	2 13	7 377	2 13	6 387	2 13	5 391	2 14	4 379	2 13	5 371
日滝小学校	1 11	4 280	1 11	4 285	1 11	3 284	1 12	2 286	1 12	3 284	1 12	2 291	1 12	2 297	2 12	5 299	2 12	6 297	2 12	5 294
豊洲小学校	1 11	2 270	1 11	2 292	1 11	2 296	1 11	2 294	1 12	3 301	1 12	2 285	1 12	4 285	1 12	3 265	1 12	2 255	1 11	3 245
日野小学校	2 12	10 351	3 12	9 347	3 12	8 333	3 12	10 337	3 12	6 345	4 12	16 321	4 12	16 337	3 12	11 333	3 12	13 349	3 12	14 345
井上小学校	1 11	1 250	1 11	2 239	1 11	2 239	1 11	2 243	1 11	1 250	1 11	1 266	1 11	1 273	2 11	6 275	1 11	4 284	2 11	6 280
高甫小学校	1 6	1 194	1 8	1 192	1 7	2 187	1 8	2 194	1 8	1 200	1 9	1 198	1 10	1 210	1 9	1 200	1 9	1 199	1 8	1 189
旭ヶ丘小学校	2 12	6 315	2 12	7 312	2 12	9 309	2 12	8 290	2 11	8 265	2 11	5 247	2 10	4 230	1 10	2 242	2 10	3 232	2 9	3 209
仁礼小学校	1 12	4 327	1 12	3 339	1 11	3 328	1 11	3 313	1 12	2 312	1 12	1 307	1 12	1 303	2 12	5 276	2 12	4 291	2 12	3 292
豊丘小学校									1 6	3 133	1 6	2 122	1 6	2 114	1 6	3 115	1 6	4 107	1 6	2 97
計	14 117	36 3, 178	14 120	36 3, 196	15 120	39 3, 191	15 123	39 3, 185	17 125	44 3, 188	18 126	46 3, 121	18 125	51 3, 141	19 124	55 3, 081	19 125	51 3, 065	20 119	51 2, 969

常盤中学校	2 10	7 341	2 10	6 352	2 11	5 357	2 10	5 328	2 10	3 328	3 10	11 336	3 10	11 345	2 10	10 350	2 10	9 341	2 11	9 348
相森中学校	2 13	6 471	2 12	7 447	3 14	6 474	3 14	9 473	3 13	10 483	3 13	15 472	2 12	10 457	3 13	11 460	3 13	9 463	4 14	15 464
墨坂中学校	2 15	7 522	2 15	5 552	2 15	4 535	2 15	5 520	2 14	8 472	2 14	8 474	2 13	10 454	3 13	13 471	3 13	15 462	3 16	13 506
東 中 学 校			1 9	1 274	1 8	2 248	1 8	2 243	1 8	2 243	1 9	4 258	1 8	3 249	2 7	7 238	2 6	5 212	2 6	9 208
計	6 47	20 1,620	7 47	19 1,625	8 48	17 1,614	8 47	21 1,564	8 45	23 1,526	9 46	38 1,540	8 43	34 1,505	10 43	41 1,519	10 42	38 1,478	11 47	46 1,526
合 計	20 163	56 4,798	21 167	55 4,821	23 168	56 4,805	23 170	60 4,749	25 170	67 4,714	27 172	84 4,661	26 168	85 4,646	29 167	96 4,600	29 167	89 4,543	31 166	97 4,495

上段は、特別支援学級（外書き）

年度 学校名		13年度		14年度		15年度		16年度		17年度		18年度		19年度		20年度		21年度		22年度	
		学級数	児 童 生 徒 数	学級数	児 童 生 徒 数	学級数	児 童 生 徒 数	学級数	児 童 生 徒 数	学級数	児 童 生 徒 数	学級数	児 童 生 徒 数	学級数	児 童 生 徒 数	学級数	児 童 生 徒 数	学級数	児 童 生 徒 数	学級数	児 童 生 徒 数
区 域 外 就 学	菅平 小学校	6	29	6	23	6	24	6	12	6	12	6	12	6	12	6	7	6	7	6	6
	菅平 中学校	3	15	3	15	3	13	3	13	3	12	3	11	3	10	3	7	3	6	3	3
	合 計	9	44	9	38	9	37	9	25	9	24	9	23	9	22	9	14	9	13	9	9

(4) 小・中学校校舎、屋体、校地保有面積一覧表

(平成23年5月1日現在)

項目 学校名	学級数	校舎面積（換算前保有面積）㎡				屋体面積（保有面積）㎡				校 地 面 積 ㎡				
		R	S	W	計	R	S	W	計	建物敷地	運 動 場	実験実習他 そ の 他	借 用 地	計
須坂小学校	11	6,019	334		6,353		975		975	5,487	9,779	869	7,647	23,782
小山小学校	20	4,308	79		4,387		896		896	4,759	5,731			10,490
森上小学校	15	4,951	42		4,993		981		981	8,489	12,765			21,254
日滝小学校	14	3,629	84		3,713		968		968	8,750	10,330			19,080
豊洲小学校	13	4,299	220		4,519		885		885	6,317	9,165	995		16,477
日野小学校	15	3,535	528		4,063		865		865	4,049	9,654			13,703
井上小学校	13	3,796	220		4,016		968		968	8,034	9,194			17,228
高甫小学校	10	4,228	196		4,424		931		931	10,425	7,225	306		17,956
旭ヶ丘小学校	11	4,064	217		4,281	725			725	8,204	8,941			17,145
仁礼小学校	14	4,434	66		4,500		1,025		1,025	9,298	7,888			17,186
豊丘小学校	7	3,027	151		3,178		512		512	4,687	8,077	198		12,962
計	143	46,290	2,137		48,427	725	9,006		9,731	78,499	98,749	2,368	7,647	187,263
常盤中学校	12	5,616	81		5,697		2,459		2,459	15,287	12,022			27,309
相森中学校	16	7,037	85	451	7,573	2,280	428		2,708	18,594	19,134			37,728
墨坂中学校	16	7,220	91		7,311		2,293		2,293	13,227	18,196			31,423
東 中 学 校	9	5,610	135		5,745	2,071	9		2,080	13,876	16,837	5,907		36,620
計	53	25,483	392	451	26,326	4,351	5,189		9,540	60,984	66,189	5,907		133,080
合 計	196	71,773	2,529	451	74,753	5,076	14,195		19,271	139,483	164,938	8,275	7,647	320,343

備考：R＝鉄筋コンクリート造、S＝鉄骨造、W＝木造

(5) 小・中学校水泳プール設置（保有）状況

(平成23年5月1日現在)

項目 学校名	設 置 年月日	大 ・ 小 プ ー ル 規 格				合 計 面積㎡	附 帯 設 備	備 考
		大プール水槽規格m	面積㎡	小プール水槽規格m	面積㎡			
須坂小学校	S39. 6	25×15× (1.0～1.2)	375	$(20 \times 5) + (5 \times 5) \times 0.7$	125	500	更・シ・消・浄・洗・便・上	S62. 6 既存プール補修
小山小学校	S55. 7	25×15× (1.0～1.3)	375	$\frac{(3+4.6)}{2} \times 7 \times (0.6 \sim 0.7)$	26.6	401.6	シ・消・浄・洗・便・上	H22水槽内シート防水補修
森上小学校	S44. 6	25×15× (1.0～1.3)	375	15×8×0.6	120	495	シ・消・浄・洗・便・上	H元. 5 既存プール補修
日滝小学校	S56. 6	25×15× (1.0～1.3)	375	10×10×0.7	100	475	更・シ・消・浄・洗・便・上	H21水槽内シート防水補修
豊洲小学校	S55. 1	25×15× (1.0～1.3)	375	10×6×(0.6～0.7)	60	435	シ・消・浄・洗・便・上	H8. 6 既存プール補修
日野小学校	S58. 6	25×15× (1.0～1.3)	375	10×10×0.7	100	475	更・シ・消・浄・洗・便・上	H14更衣室棟改築
井上小学校	S57. 6	25×15× (1.0～1.3)	375	10×10×0.7	100	475	更・シ・消・浄・洗・便・上	
高甫小学校	S61. 7	25×15× (1.0～1.3)	375	12.5×5×(0.7～0.75)	62.5	437.5	更・シ・消・浄・洗・便・上	S61. 7 新設改修
旭ヶ丘小学校	S46. 6	25×15× (1.0～1.3)	375	15×7×0.6	105	480	更・シ・消・浄・洗・便・上	H4. 6 既存プール補修
仁礼小学校	S37. 7	25×12× (1.0～1.3)	300	10×10×0.7	100	400	更・シ・消・浄・洗・便・上	S61. 7 既存プール補修 S61. 7 小プール設置
豊丘小学校	S59. 7	25×15× (1.0～1.3)	375	10×10×0.7	100	475	更・シ・消・浄・洗・便・上	
計	11		4,050		999.1	5,049.1		
常盤中学校	H13. 3	25×16× (1.2～1.4)	400			400	更・シ・浄・洗・便・上	H13. 3 新設改修(国庫補助事業)
相森中学校	H13. 5	25×16× (1.2～1.4)	400			400	更・シ・浄・洗・便・上	H13. 5 新設改修(同 上)
墨坂中学校	H18. 7	25×16× (1.2～1.4)	400			400	更・シ・浄・洗・便・上	H18. 7 新設改修(同 上)
東 中 学 校	H7. 3	25×16× (1.2～1.4)	400			400	更・シ・浄・洗・便・上	H7. 3 新設改修(同 上)
計	4		1,600			1,600		
合 計	15		5,650		999.1	6,649.1		

備考：更＝更衣室、シ＝シャワー、消＝消毒槽、浄＝浄化装置、洗＝洗眼、便＝便所、上＝上水道

(6) 校舎等改築状況

(平成23年5月1日現在)

年度 学校名	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
須坂小学校															校 耐 16,800				校 耐 302,389					
小山小学校			校 279,404	校 195,900	乙 35,995	校 107,830													校 21,315		校 耐 163,401			
森上小学校							校 362,200	校 327,400	校 163,200															
日滝小学校			校 190,480	校 209,509 耐 109,650	乙 37,180													校 耐 9,587					校 耐 215,197	
豊洲小学校	校 186,284	校 205,344	校 104,800	乙 32,500	校 37,000													校 耐 12,264					校 耐 234,465	
日野小学校	校 95,970	校 230,360	校 97,700					乙 44,930							校 33,495			校 耐 12,684		校 19,876	校 耐 169,922			
井上小学校					校 244,750	校 315,180	校 154,020 乙 40,050																校 耐 225,225	
高甫小学校				校 179,300	校 375,750					校 34,500	乙 47,580						校 169,922						校 耐 227,314	
旭ヶ丘小学校															校 737,993									
仁礼小学校						校 314,700	校 328,400		校 33,600		乙 21,000		校 184,050											
豊丘小学校								校 317,143	校 175,757 乙 48,200										校 耐 31,804					

(平成23年5月1日現在)

年度 学校名	59	60	61	62	63	元	2	3	4	5	6	7	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
常盤中学校			校 189,840			屋 228,298							フ 39,312									武 205,800		
相森中学校				校 292,160		校 436,051	校 410,846	校 510,180						フ 111,405 校 48,300						屋 526,155				
墨坂中学校			屋 27,300		校 477,470				校 629,330	校 922,616	校 212,958						屋 401,888	フ 114,035						
東中学校	屋 24,600										校 722,503 フ 116,699	校 552,564			屋 447,176									

※平成12年度以降は、工事請負費のみ（千円）

備考：校＝校舎、屋＝屋内運動場、フ＝プール、□＝大規模改修、耐＝耐震補強

(7) 小・中学校の沿革

須坂小学校

明治6年11月日滝村と連合して、旧須坂藩々校立成館の地に「本立学校」を創立する。翌7年旧日滝村が独自で学校を設立したため、通学区は須坂一村のみ同13年5月須坂学校と改称、同22年須坂尋常小学校を組織する。高等科は一郡一校制となり上高井郡立高等小学校を須坂尋常小学校内に設置する。同25年郡立高等小学校を廃止し、新たに須坂町外八ヵ村組合高等小学校を組織する。同28年3月これが解散したため、町立須坂尋常高等小学校を設置する。大正3年常盤部および中町部と改称、同7年2月須坂実科高等女学校併置、中町部廃止、同11年旧豊丘村の一部を合併し小山部校と称する。同12年女学校を組合立とする。昭和9年森上部新設、同11年日滝村合併に伴い、須坂尋常高等小学校日滝部校と改称。1小学校4部校制。同16年部校廃止、国民学校と改称、同22年新学制実施により須坂町立須坂小学校となり、同29年4月市制施行により、須坂市立須坂小学校となる。同47、48、49、50年の4ヵ年にわたり校舎全面改築完了、同48年11月開校100周年記念式典が挙行される。50年度屋内運動場改築、51年度渡り廊下新築される。同62年度プール全面改修される。平成14年度に屋内運動場の耐震補強工事が行われる。平成18年度に校舎耐震補強工事、大規模改修工事が行なわれる。平成22年度に体育館へ太陽光発電設備設置工事が行われる。

小山小学校

明治6年小山村円光寺内に設立し、止善学校と称する。同11年現位置に新築移転、同15年小山小学校設立許可される。同39年雨天体操場新築、大正11年須坂町に合併、須坂尋常高等小学校小山部校と称する。大正10年11月本校舎新築、昭和3年校舎増築、同16年部校廃止、同年より須坂町立小山国民学校と称する。同22年新学制実施により須坂町立小山小学校と称する。同28年校舎増築、同29年4月須坂市立小山小学校となる。同48年開校100周年記念式典挙行される。同53、54、55、56年度の4ヵ年にわたり校舎、屋内運動場、プール全面改築される。平成21年度に校舎耐震補強工事、大規模改修工事が行われる。平成22年度に校舎へ太陽光発電設備設置工事が行われる。

森上小学校

昭和8年起工、同9年7月開校、須坂尋常小学校森上部と称する。同16年4月須坂町立森上国民学校と改称、同22年4月新学制実施により須坂町立森上小学校と称する。同27年7月普通教室増築、同29年4月須坂市立森上小学校となる。同54年開校45周年記念式典挙行される。同57、58、59年度の3ヵ年にわたり校舎、屋内運動場全面改築される。同59年創立（開校）50周年・校舎総改築記念式典挙行される。平成6年創立（開校）60周年記念式典挙行される。平成16年創立（開校）70周年記念式典挙行される。

日滝小学校

明治6年須坂町と協議して設立、明治7年大谷日滝寺を校舎とする（潤身学校）。明治11年宮原に学

校を新築、同15年日滝学校と称する。同18年高井学校と合併、同22年独立して日滝尋常小学校と称する。同34年高等科を併置し現地に改築する。昭和11年須坂町に合併、須坂尋常高等小学校日滝部となり、同13年6月校舎増築、同16年独立須坂町立日滝国民学校、同22年新学制実対により須坂町立日滝小学校となり、同29年4月須坂市立日滝小学校となる。同49年開校100周年記念式典挙行される。同53、54年度の2ヵ年にわたり大字日滝1648番地へ移転改築される。同56年にはプールが移転改築される。平成17年度に屋内運動場の耐震補強工事が行われる。平成21年度に校舎耐震補強工事、大規模改修工事、体育館へ太陽光発電設備設置工事が行われる。

豊洲小学校

明治7年創立、同22年までは分合が多く管理者の交替も頻繁であったため、事実の明瞭さに欠くことがあったが、同22年町村制実施と共に分立し豊洲尋常小学校となり、次いで同24年4月高等科を併置、昭和16年4月豊洲国民学校と改称、同22年4月新学制実施により豊洲小学校と改称、同29年町村合併により須坂町立豊洲小学校と改称、同年4月市制施行につき、須坂市立豊洲小学校となる。同51、52、53、54年度にわたり校舎、屋内運動場、プールが全面改築される。平成元年度開校100周年記念式典が挙行される。平成17年度に屋内運動場の耐震補強工事が行われる。平成21年度に校舎耐震補強工事、大規模改修工事、体育館へ太陽光発電設備設置工事が行われる。

日野小学校

明治22年沼目学校設立、同24年4月日野小学校と改称、同25年日野尋常小学校となる。同43年現在地に校舎を新築移転、昭和16年日野国民学校と改称、同22年4月日野小学校と改称、同29年2月町村合併により須坂町立日野小学校、同29年4月市制施行により須坂市立日野小学校となる。同51、52、53年度にわたり校舎、屋内運動場が全面改築され、同58年にはプールが全面改築される。平成元年には開校80周年、平成11年には開校90周年の記念式典が挙行される。平成13年度エレベーターが設置される。同17年度に屋内運動場の耐震補強工事が行われる。平成19年度に東校舎が全面改築され2階建てとなる。平成20年度に校舎耐震補強工事、大規模改修工事が行われる。

井上小学校

明治7年井上村円了寺に道生学校創立、明治19年井上村青木道之助氏宅に移り、別に円了寺に分教場をおく。同22年井上尋常小学校と改称、同31年高等科を併置、同37年に現在地に校舎新築移転、昭和16年井上国民学校と改称、同22年井上小学校となり、同30年1月に須坂市に合併により須坂市立井上小学校となる。同49年開校100周年記念式典挙行される。同55年、56年、57年の3ヵ年にわたり校舎、屋内運動場、プールが全面改築される。平成5年、開校120周年記念式典が挙行される。平成22年度に校舎耐震補強工事、大規模改修工事が行われる。

高甫小学校

明治7年野辺広正寺に克讓学校設立。同20年八町松沢要右エ門宅に移転、同21年井上小学校八町支校

となる。同22年4月高甫村成立にともない高甫尋常小学校と改称、同27年現在地に校舎新築移転、同37年校舎を増築する。大正15年北校舎改築落成、昭和16年4月高甫国民学校と改称する。同22年4月高甫小学校と改称、同30年1月須坂市への合併により須坂市立高甫小学校となる。同49年開校100周年記念式典挙行され、同54、55年度の2ヵ年にわたり普通教室棟、特別教室、管理棟全面改築される。同60年度には屋内運動場が大規模改修、同61年度にはプールが全面改修される。平成16年度に屋内運動場新築、同17年度には高竜池の造成が行われる。平成22年度に校舎耐震補強工事、大規模改修工事が行われる。

旭ヶ丘小学校

昭和46年4月豊洲小学校旭ヶ丘校舎として授業開始、同年6月校舎、プール新築開校、旭ヶ丘小学校と称する。同47年11月屋内運動場が新築される。同55年度10周年記念式典が挙行される。平成2年度20周年記念式典が挙行され、校内施設充実事業で郷土室が完成する。平成12年11月、開校30周年記念式典が挙行される。同14・15年度2ヶ年に渡り、南校舎、北校舎の大規模改修工事が行われ、耐震補強工事も完了する。

仁礼小学校

明治6年高顕寺、万竜寺に開設、同7年仁礼学校、成器学校と称する。同19年2校を合併、仁礼尋常小学校と称する。同28年仁礼尋常高等小学校と改称、大正11年校舎を現在地に移転、昭和16年仁礼国民学校と改称、同22年仁礼小学校となり、同30年豊丘村と合併により、東村立南部小学校と改称、同40年屋内運動場改築、同46年須坂市と合併により、南部小学校を仁礼小学校に改め須坂市立仁礼小学校となる。同49年開校100周年記念式典挙行される。同56、57年度の2ヵ年にわたり校舎全面改築される。また、同59年度には普通教室棟が増築される。同61年には、プールが全面改修される。同63年度には屋内運動場が改築される。

豊丘小学校

明治6年小山村止善学校支校を灰野村旧地善堂に設立、同11年競進学校と改称する。同15年園里学校と改称、同18年須坂学校園里支校と称する。同22年小山学校園里支校と改称、同25年小山学校園里支校を独立して園里尋常小学校と称する。同34年高等科を併置、昭和4年現在地に校舎新築移転、同5年豊丘尋常高等学校に改称、同16年豊丘国民学校、同22年豊丘小学校と改称、同30年仁礼村との合併により東村立東部小学校と改称する。同46年須坂市と合併により東部小学校を豊丘小学校に改め須坂市立豊丘小学校となる。同49年開校100周年記念式典挙行される。同58、59年度の2ヵ年にわたり校舎、プールが全面改築される。平成18年度に屋内運動場の耐震補強工事が行われる。

常盤中学校

昭和22年4月須坂町立須坂中学校として須坂町大字須坂780番地須坂小学校内に設置、同23年3月須坂町立中学校解散廃校、同23年4月須坂中学校に須坂町立常盤中学校を設置、同27年5月現在地に新築移転、同29年4月須坂市立常盤中学校となる。10月体育館落成。同33年11月創立10周年記念式典挙行。

11月給食室竣工。同37年特殊学級開設。同38年技術科・音楽室竣工。10月創立15周年記念式典挙行。同39年プール竣工。同42年11月創立20周年記念式典挙行。和風洋風庭園をつくる。同49年6月宿直廃止。同52年11月開校30周年記念式典挙行。校歌碑建立。同53年3月体育館に「切磋琢磨（上条信山書）」掲額。4月相森中学校通学区の一部（高橋、大谷、本郷の新一年生から）が変更され、常盤中学校通学区に編入される。同61年度から平成元年度までの4ヵ年にわたり校舎及び屋内運動場が改築。平成2年9月校舎改築記念式典挙行。平成3年3月コンピューター教室落成。平成9年9月創立50周年記念常盤祭。平成13年プール移転改築。プール跡地にテニスコート新設。平成16年校内イントラネット設置。同17年図書館のデータベース化、カモシカ広場整備着工。同18年4月ブレザー型制服制定、7月新訂「須坂町公園設計案」発刊。9月校舎北ヒマラヤスギ枝打ち。同19年8月男子バレーボール部全国大会出場ベスト16。9月創立60周年記念式典挙行。20年12月武道館建設基本設計が完了する。建設に伴い、校舎東側水路の改修。コンピューター室を一部改修した。平成21年度に常盤中武道場建設工事が行われる。

相森中学校

昭和22年4月新学制の実施により須坂中学校開校、同23年3月廃校、新たに相森中学校開校、4月より元日本測定器会社の工場を買収、これを改造し校舎として開校。同29年市立相森中学校となる。同30、31年豊洲中学校を統合、本校校舎改築。同51年30周年記念式典挙行される。同53年通学区の一部（高橋、大谷、本郷の新一年生から）が変更され常盤中学校通学区に編入。同56年度校舎増築、同60年度にはプール全面改修。同61年40周年記念式典挙行。

平成元年4月から、墨坂中学校通学区の一部（田の神町の新一年生から）変更され、相森中学校通学区に編入される。同元年度から3年度までの3ヵ年にわたり校舎が全面改築される。同8年度50周年記念式典。同13年度プール改築。及びエレベーターが設置される。同18年度60周年記念式典挙行。3月、武道場を併設した屋内運動場の全面改築工事着工。同20年3月完成竣工式。同20年8月こけら落とし講演会。

墨坂中学校

昭和33年5月、日野、高甫、井上の各中学校を統合し、同年9月開校する。昭和33年3月第二校舎新築、更に昭和33年10月第一校舎、保健室、給食室を新築する。同43年開校10周年記念式典挙行。同53年開校20周年記念式典挙行。同61年度、屋内運動場、プールが大規模改修。同63年開校30周年記念式典挙行。平成元年4月から、通学区の一部（田の神町の新一年生から）が通学区変更され、相森中学校通学区に編入される。平成4年度から6年度までの3カ年にわたり校舎が全面改築される。平成10年開校40周年記念式典挙行。平成17年度に武道場を併設した屋内運動場、平成18年度にプールの全面改築が行われる。平成20年開校50周年記念式典挙行。

東中学校

昭和33年5月東村南部中学校、東部中学校の統合により東村立東中学校となる。同34年校舎新築、同35年屋内運動場、給食室、音楽室新築、同46年須坂市と合併により須坂市立東中学校となる。同53年開校20周年記念式典挙行される。同59年度屋内運動場が大規模改修される。同62年度にはプール全面改修

される。同63年開校30周年記念式典挙行。

平成6・7年度の2カ年にわたり、校舎、プールが全面改築される。平成9年度40周年記念式典。同14年度武道場を併設した屋内運動場が全面改築される。平成19年創立50周年記念式典挙行。

須坂支援学校

平成23年4月、須坂市立須坂支援学校として、須坂小学校校舎の一部を活用し開校する。市町村立の特別支援学校としては、長野県内で初めてとなる。

(8) 小・中学校の通学区域

学 校 名	通 学 区 域
須 坂 小 学 校	穀町 上町 本上町 上中町 中町 春木町 太子町 新町 常盤町 横町 立町
小 山 小 学 校	坂田町 南原町 北原町 小山町 屋部町
森 上 小 学 校	東横町 南横町 北横町 馬場町 須坂ハイランド町 八幡町 境沢町
日 滝 小 学 校	相森町 高橋町 大谷町 本郷町
豊 洲 小 学 校	南小河原町 小河原町 新田町 小島町 相之島町 北相之島町 豊島町
日 野 小 学 校	八重森町 沼目町 塩川町 高梨町 五閑町 村山町 田の神町 西町
井 上 小 学 校	井上町 福島町 中島町 九反田町 幸高町 米持町 二睦町
高 甫 小 学 校	上八町 下八町 野辺町 村石町 明德町 望岳台
旭ヶ丘小学校	高畑町 旭ヶ丘町 北旭ヶ丘町 松川町 光ヶ丘ニュータウン
仁 礼 小 学 校	仁礼町 亀倉町 夏端町 米子町 塩野町
豊 丘 小 学 校	大日向町 豊丘町 豊丘上町
常 盤 中 学 校	穀町 上町 本上町 上中町 中町 新町 常盤町 立町 坂田町 南原町 北原町 小山町 高橋町 大谷町 本郷町 村石町 明德町
相 森 中 学 校	春木町 太子町 東横町 南横町 北横町 横町 馬場町 西町 須坂ハイランド町 相森町 南小河原町 小河原町 新田町 小島町 相之島町 北相之島町 豊島町 高畑町 旭ヶ丘町 北旭ヶ丘町 松川町 光ヶ丘ニュータウン 田の神町
墨 坂 中 学 校	屋部町 八幡町 境沢町 八重森町 沼目町 塩川町 高梨町 五閑町 村山町 井上町 福島町 中島町 九反田町 幸高町 米持町 二睦町 上八町 下八町 野辺町 望岳台
東 中 学 校	仁礼町 亀倉町 夏端町 米子町 塩野町 大日向町 豊丘町 豊丘上町

※峰の原高原の児童・生徒は、上田市立菅平小中学校に通学している。

4 高等学校

(平成23年5月1日現在)

学 校 名	公 私 別	所 在 地	校 長 名	生 徒 数(人)	備 考
須坂商業高等学校	県 立	馬 場 町	山岸 重文	382	全 日 制
須坂東高等学校	県 立	常 盤 町	京田 伸吾	742	全 日 制
須坂高等学校	県 立	立 町	内山 浩一	765	全 日 制
須坂園芸高等学校	県 立	南 横 町	西澤 和平	463	全 日 制
計 4校				2,352	

5 いじめ等対策事業

事 業 名	目 的
指導主事による指導	いじめに対する対応や調査、教員、学校等への相談、指導を行う。
スクールカウンセラーの活用	スクールカウンセラーは、適宜に或いは要請によって学校を訪問し、子ども、保護者、教員との相談を通じて、いじめ等の問題解決の支援に当たる。
電話相談 (教育相談室の電話相談の活用)	いじめ等各種の悩みを受入れ、心の浄化と解決方法の提示、相談者の了解の上での学校への対応によって事態の改善を図る。

6 小・中学校巡回教育相談

いじめや不登校等児童・生徒の問題行動等の対応に当たっては、学校におけるカウンセリング等の機能の充実を図ることが重要な課題である。この課題解決の施策として児童・生徒の臨床心理に関して専門的な知識・経験を有する教育相談員を配置して、児童・生徒の問題行動等の解決に資する。

また、教育相談業務の充実を図るため、市内小学校を巡回する教育相談員を配属し、市内小学校を巡回して相談・指導を行ってきている。

(1) 教育相談員の職務

- ① 児童・生徒へのカウンセリング
- ② カウンセリング等に関する教職員及び保護者に対する助言・援助
- ③ 児童・生徒のカウンセリング等に関する情報収集・提供
- ④ その他児童・生徒のカウンセリング等に関し、各学校において適当と認められること。

(2) 小学校巡回教育相談

内 容	件数	内 容	件数	内 容	件数
1 不登校・不登校傾向	62	5 学校・教師	26	9 発達障害	36
2 いじめ	4	6 家庭環境・家族関係	33	10 その他	85
3 友人関係	79	7 しつけ・育児	0	計	400
4 学習・進路	62	8 性格	13		

7 須坂市フレンドリールーム

フレンドリールームとは、学校と家庭を結ぶ中間的な教室で、主として心理的理由により登校できない中学生のために自立を促し、学校復帰を援助することを目的としている。

指導はメンタルアドバイザー（適応指導員）が行う。

- (1) 設 置 平成4年4月1日
- (2) 位 置 須坂市大字日滝2082（相森中学校内）
- (3) 通室生・復帰生調べ

（単位：人）

		1 学 年	2 学 年	3 学 年	計	総 計
通室生	男	0	1	1	2	3
	女	0	0	1	1	

8 教育相談室

1 設 置 昭和58年4月1日

2 事業内容

(1) 面接相談・家庭訪問

① 内容別

年 度	19		20		21		22		23	
内 容 件数	件数	相談延回数	件数	相談延回数	件数	相談延回数	件数	相談延回数	件数	相談延回数
性格・生活習慣	8	9	4	4	11	12	9	9	0	0
知的発達遅滞	55	66	62	80	81	112	29	38	1	1
学 校 生 活	39	55	71	94	39	53	111	157	183	185
非 行	7	4	22	23	17	20	1	1	1	1
家 庭 関 係	37	72	30	64	44	64	50	55	6	7
環 境 福 祉	3	5	4	5	8	15	0	0	0	0
身 体 障 害	3	4	3	3	2	2	9	10	1	1
情 緒 障 害	11	12	1	1	7	14	15	22	0	0
そ の 他	12	15	5	8	2	2	39	51	28	29
計	175	242	202	282	211	294	263	343	220	224

② 校種別

年 度	19		20		21		22		23	
内 容 件数	件数	相談延回数	件数	相談延回数	件数	相談延回数	件数	相談延回数	件数	相談延回数
来 入 児	40	53	31	37	56	75	91	136	94	96
小 学 校	99	126	114	164	86	123	132	168	81	82
中 学 校	34	63	58	83	57	83	40	39	32	32
高 校	2	4	4	4	12	13	0	0	13	14
計	175	246	207	288	211	294	263	343	220	224

(2) 電話相談

年 度	件 数	延 回 数
19	62	79
20	102	132
21	42	61
22	30	33
23	21	21

9 外国人講師（外国語指導助手）

国際理解教育の一環として、中学生の英語科授業で生徒が直接外国人に接し、英語を聞いたり話したりすることで、言語や文化の理解や積極的なコミュニケーション態度の育成、4技能の基礎能力を高めたいけるように役立てるため、各中学校に外国語指導助手を派遣している。

勤 務 期 間	氏 名	性別	出 身 国	備 考
平成21年4月1日 ～現在	Daniel Whitehead (ダニエル・ホワイトヘッド)	男	イギリス	民 間 委 託
平成21年4月1日 ～平成24年3月31日	Matt Koehler (マット・コーラ)	男	アメリカ	民 間 委 託

児童が直接外国人に接し、言語や文化について体験的に理解を深め、外国語の音声や基本的な表現に親しみながらコミュニケーション能力を育てたいけるように役立てる。

(市内の小学校11校を訪問し、5、6年生の35時間の授業数のうち約半分の17回ALTを派遣する。1～4年生についてはコミュニケーション能力の素地を養うため、1校当たり4年生に12回、1～3年生に8回派遣する。)

勤 務 期 間	氏 名	性別	出 身 国	備 考
平成23年4月1日 ～現在	James William Ledford III (ジェームズ ウィリアム レッドフォード)	男	アメリカ	直 接 雇 用
平成23年4月1日 ～現在	Khaitova Mukaddam (ハイトワ ムカツダム)	女	ウズベキスタン	直 接 雇 用

10 交流事業

(1) 姉妹都市交流

姉妹都市・新潟県新発田市の米子小学校児童と須坂市小学校児童とが年1回交流し、両市町の地理、歴史などを学習している。(姉妹都市・神奈川県三浦市との交流は、児童青少年健全育成事業として実施している。47ページ参照)

平成23年度は、須坂市の児童44名が新発田市を訪問した。

(2) 友好都市交流（須坂市生徒友好訪中団派遣事業）

中華人民共和国吉林省四平市との友好都市締結を契機に、未来を担う中学生を対象に友好訪中団を結成し、両市の友好親善を深め、生徒の国際感覚を培い人間形成に役立たせることを目的として実施する。(平成5・6年度は、須坂市日中友好協会主催であったが、平成7年度から須坂市教育委員会主催事業とした。)平成16年度からは、隔年実施とした。(平成18年・20年・22年度は事情により中止。平成21年度は、友好都市締結15周年記念訪中団に同行。平成23年度は、須坂市民訪中団に併せて参加した。)

11 育 英 事 業

(1) 奨 学 金 (創設 昭和35年7月)

①貸与月額 () 内は平成14年4月1日以降の新規貸与者に対する貸与月額

(イ) 高校生 公立 7,000円 (10,000円) 以内

私立 15,000円 (21,000円) 以内

(ロ) 高専生 12,000円 (17,000円) 以内

(ハ) 大学生 国公立 ———— 自宅通学 18,000円 (26,000円) 以内

————— 自宅外通学 23,000円 (33,000円) 以内

私 立 ———— 自宅通学 25,000円 (36,000円) 以内

————— 自宅外通学 35,000円 (50,000円) 以内

②貸与状況

年 度	21		22		23	
人数／金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額
高 校 生	1(1)	120,000	1(0)	120,000	1(0)	120,000
高 専 生	1(0)	0	1(0)	0	1(0)	0
大 学 生	13(9)	7,152,000	13(3)	7,152,000	12(2)	6,756,000
計	15(10)	7,272,000	14(3)	7,272,000	13(2)	6,876,000

() 内は当年度採用者 (内書き)

③ 積立基金 (平成24年3月31日現在)

須 坂 市 奨 学 金 積 立 基 金	10,539,000円
高 梨 兵 左 衛 門 積 立 基 金	682,138円
積 立 基 金 計	11,221,138円

12 児 童 セ ン タ ー ・ 地 域 児 童 ク ラ ブ ・ 委 託 児 童 ク ラ ブ

留守家庭児童を中心に放課後児童健全育成事業を推進するとともに、児童センターでは一般児童に対しても健全な遊び場を提供し、集団的及び個別的な活動を通じて健康の増進と情操を豊かにすることを目的としている。

また、未就園児とその保護者の集まりの場として子育て支援事業を進めている。

委託児童クラブについては、児童・生徒の福祉増進と健全育成を図るため、新しい住宅団地で人口増加の著しい地区を中心に昭和55年から児童クラブを建設し、その管理・運営を地区区長に委託している。

児童センター・地域児童クラブ・委託児童クラブの状況 (平成23年4月1日現在)

児 童 ク ラ ブ 名	開 設 場 所	開設年月日	登録児童数	児童厚生員等
中央児童センター	大字須坂1212-1	昭和44. 10. 1	—	4
南部児童センター	墨坂南4-1-8	昭和57. 4. 1	63	4
東部児童センター	大字日滝91-4	昭和59. 4. 1	43	5
北部児童センター	大字小河原3305-1	平成 5. 4. 7	45	4
豊洲地域児童クラブ	大字小島401番地1	平成14. 4. 1	37	3

井上地域児童クラブ	井上小学校構内	〃	58	4
高甫地域児童クラブ	高甫小学校教室	〃	41	2
仁礼地域児童クラブ	大字仁礼91-1	平成15. 4. 1	66	4
豊丘地域児童クラブ	旧園里学校内	〃	25	2
日滝地域児童クラブ	日滝小学校構内	平成16. 4. 1	60	3
森上地域児童クラブ	森上小学校教室	平成17. 4. 1	46	3
日野地域児童クラブ	大字塩川158-2	〃	72	6
北相之島町児童クラブ	北相之島町内専用施設	昭和55. 12. 21	93	1
夏端町児童クラブ	夏端町内専用施設	昭和57. 4. 24	39	3
亀倉町児童クラブ	亀倉町内専用施設	昭和57. 12. 4	114	2
学童保育どんぐりクラブ	大字小山賃貸建物	昭和54. 4. 1	26	4

13 学校給食センター

位置、面積 須坂市大字野辺1386-5 6,420.14m²

建物延床面積 1,567.35m²

沿革

- 昭和48年2月 学校給食共同調理場設置研究委員会が発足
- 昭和50年11月 学校給食センター建設工事開始
- 昭和51年3月 学校給食センター施設完成
- 8月 学校給食センター竣工式
給食業務開始
第1回学校給食センター運営委員会開催
- 昭和56年4月 週2回米飯給食を実施
- 昭和58年7月 調理用ボイラー1基増設
- 昭和61年4月 小学校の低学年、高学年別献立を2小学校群別献立とする
市内全小学校の給食にハシ使用を実施
- 6月 市内全校の汁椀食器の改善
- 8月 市内全中学校の給食にハシ使用を実施
- 昭和62年8月 超高压洗浄機、焼物機、揚物機更新
- 昭和63年8月 週3回米飯給食を実施
- 平成元年2月 蒸気自動煮炊釜、サイノ目切機更新
- 7月 給食配送車2台更新
- 平成2年7月 給食配送車2台更新
- 平成3年3月 蒸気自動煮炊釜、野菜さいだん機更新
- 7月 給食配送車1台更新
ポリプロピレン製汁椀、菜皿整備
- 平成4年7月 給食配送車1台更新
- 平成5年3月 超高压洗浄機、球根皮むき機更新
学校給食センター啓発用ビデオ作成
- 平成6年2月 かくはん機2台更新
- 平成7年2月 調理用ボイラー1基更新

6月	スポットエアコン、合成調理機、フードスライサー更新
8月	超高压食器洗浄機更新
平成8年5月	スポットエアコン、球根皮むき機更新、牛乳保冷库（井上小学校）更新
6月	厨芥処理機更新
8月	業務用冷凍庫更新
平成9年6月	牛乳保冷库（須坂・小山・豊洲小学校）・球根皮むき機更新 合成調理機・フードスライサー
3月	蒸気回転釜・牛乳保冷库（日野・豊丘小学校）
平成10年8月	全自動煮炊釜更新 ポリプロピレン製汁椀・菜皿更新
平成11年5月	高速ミキサー更新 検収室用冷蔵庫新規
10月	微細目スクリーン更新 給食用お盆（エスタートレイ）更新
平成12年3月	増改築工事 洗浄室増築、調理室・下処理室床改修、調理室フード改修 食器洗浄システム（浸漬槽・自動供給装置・食器洗浄機）新規 缶洗浄システム（前処理機・食缶洗浄機）新規 器具類洗浄機更新、自動揚物機・自動焼物機更新 下処理室ドライ仕様（シンク・調理台）更新、カートイン蒸し器更新 洗浄室用ローラーコンベア新規
平成12年4月	献立を3コースから2コースに変更する。 給食費を市の一般会計に組み入れ、公金化を図る。
平成13年5月	防犯監視用センサー設置
8月	屋根改修工事 全自動煮炊釜更新
平成14年1月	ボイラー加熱管交換工事
8月	公共下水道接続工事
平成15年8月	食器消毒保管庫更新 蒸気回転釜更新
10月	給食用コンテナ更新
平成16年7月	食器（ボール）更新（ポリプロピレン製からCOP製へ）
11月	給食用コンテナ更新
平成17年3月	L型運搬車新規
平成17年8月	超高压洗浄機用高压水切り装置新規
10月	給食の主食にソフト麺導入（10月～3月まで月1回）
平成18年8月	食器(COP製角ランチ皿)更新 器具消毒保管機・蒸気回転釜・フードスライサー更新
10月	給食用コンテナ更新
平成19年7月	連絡車更新
8月	真空冷却機新規 多管式貫流ボイラー更新

12月	ボイラー加熱管交換工事
平成20年 1月	球根皮剥機・野菜調理機更新
8月	給食用お盆（FRP トレー）更新
平成21年 1月	給食用コンテナ更新
7月	自動揚物機
平成22年 8月	ストレージタンク熱交換器交換工事
8月	ボイラー室アスベスト除去工事
8月	ドライ仕様移動台 1 台新規
9月	高圧洗浄機1台更新
平成23年 3月	給食用コンテナ1台更新
3月	洗濯機1台更新
8月	給食用コンテナ4台更新
8月	多管流式貫流ボイラー修繕

延べ給食数

（単位：食）

内 容	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
小 学 校	683,728	685,680	690,316	677,586	682,677	667,892	673,014	653,256
中 学 校	337,330	333,830	326,757	334,789	323,095	323,885	321,409	335,243
試 食	145	130	136	58	232	143	163	159
計	1,021,203	1,019,640	1,017,209	1,012,433	1,006,004	991,920	994,586	988,658

（23年度年間給食日数214日・配送車稼働台数6台、延1,262台）

1食当たり給食単価

（単位：円）

内容 \ 年度	55	56	57・58	59～63	元・2	3～5	6～9	10～20	21～
小 学 校	170	182	189	195	202	215	230	240	260
中 学 校	205	220	228	235	244	261	275	285	305

会 議

運営委員会	2回
献立作成委員会	6回

V 子ども課

1 子育て支援事業

(1) すこやか相談事業

子どものすこやかな発育、発達を支援し、スムーズな就学につなげるために「すこやか相談事業」を平成 18 年度から実施している。対人関係や集団適応での能力の差が出てくる 5 歳児に着目し、保護者及び担任への事前調査をもとに、幼稚園・保育園での様子を巡回観察し、発達障がい疑われる児童及び保護者について適切な支援をしていく。また、あらゆる相談に応じることで、保護者及び幼稚園・保育園を支援していく。

ア 5 歳児巡回

① 対象者

須坂市に住民票がある平成 18 年 4 月 2 日～平成 19 年 4 月 1 日生まれの幼児（475 人）

私立幼稚園（6 園・154 人）、私立保育園（4 園・53 人）

公立保育園（11 園・243 人）、管外幼稚園・保育園（11 園・15 人）

② スタッフ

巡回訪問 言語聴覚士・保健師・すこやか相談コーディネーター

個別相談 小児精神科医師・臨床心理士・教育相談員・家庭児童相談員

③ 実施内容

アンケート及び相談への対応状況（対象児 487 名）

	アンケート提出	発達相談記入数	対 応 方 法				
保護者	475 人 (100.0%)	100 人 (21.1%)	面談	電話	文書	その他	計
			18	66	16	0	100 人
保育士・教諭	475 人 (100.0%)	165 人 (34.7%)	巡回時対応 165 人				

相談内容（複数回答あり）

	項 目	人数 (人)	比率(%)	備 考（主な相談内容）
保護者	1 身体・健康面	20	16.5	発育の遅れ、持病
	2 対人・行動面	35	28.9	社会性、友達関係、遊び
	3 言語・認知面	20	16.5	言語表出、言語理解、手先の巧緻
	4 食事面	6	5.0	好き嫌い、偏食、肥満
	5 しつけ	18	14.9	言葉遣い、ほめ方・しかり方
	6 その他	22	18.2	癖など
保育士 教 諭	計	121	100.0	
	1 身体・健康面	29	6.5	発育の遅れ、持病
	2 対人・行動面	243	54.8	社会性、友達関係、遊び
	3 言語・認知面	120	27.1	言語表出、言語理解、手先の巧緻
	4 食事面	2	0.5	好き嫌い、偏食、肥満
	5 家庭環境	47	10.6	家庭環境、養育面の心配
	6 その他	2	0.5	発達状況、乳幼児健診フォロー児、心理など

④ 巡回状況

(ア) 巡回観察対象児 243 人 (51.2%)

(イ) 巡回観察状況 78 回 (22 園)

(ウ) 個別相談 23 人

⑤ 24 年度要継続支援とした児童の状況

主な該当項目	人数(人)	割合(%)
1 理解・認知・操作	23	24.2
2 対人・行動	31	32.7
3 言語	4	4.2
4 食事・肥満	0	0.0
5 専門機関療育	8	8.4
6 家庭環境	8	8.4
7 発達状況・その他	21	22.1
計	95	100.0

イ 6 歳児巡回

22 年度 5 歳児すこやか相談事業で継続支援・観察が必要と判断した 6 歳児 90 人を対象に、昨年の巡回記録をもとに、教育相談員、家庭児童相談員などが各園を巡回し、経過観察をし、担任、保護者に助言・指導を行った。

① 巡回状況

21 園 64 回

② 個別相談状況等

市就学指導教育相談 13 人 (養護学校、自閉症・情緒障害特別支援学級)

個別相談 40 人 (小児科医師、臨床心理士、教育相談員、家庭児童相談員、栄養士、すこやか相談コーディネーター)

③ 小学校入学後、要継続支援・観察とした児童の状況

主な該当項目	人数(人)	割合(%)
1 理解・認知・操作	14	28.0
2 対人・行動	20	40.0
3 言語	3	6.0
4 食事・肥満	0	0.0
5 障がい (知的・身体・発達等)	7	14.0
6 家庭環境	6	12.0
計	50	100.0

ウ すこやか教室

5 歳児すこやか相談事業実施後、何らかの形で継続した支援が必要とする児童と保護者のための療育事業として、6 歳児を対象に「すこやか教室」を開設した。

- ① 実施期日 5 月 14 日 (土)、6 月 11 日 (土)、7 月 9 日 (土)、8 月 6 日 (土)、
9 月 10 日 (土)、10 月 15 日 (土)、11 月 12 日 (土)、12 月 10 日 (土)
1 月 14 日 (土)、2 月 18 日 (土)

- ② 会 場 保健センターリハビリルーム
- ③ スタッフ 保健師、作業療法士、言語聴覚士、家庭児童相談員、療育指導員、すこやか相談コーディネータ
- ④ 参加人数 児童とその保護者 8 組
- エ 発達障害に関する講演会の開催
- ① 期 日 5 月 16 日
- ② 演 題 「支援が必要な幼児の育ち合いを促す保育」
- ③ 講 師 林 明氏（北辰教育事務所学校教育課 特別支援教育推進員）
- ④ 場 所 保健センターリハビリルーム
- ⑤ 参加人員 市内公立・私立保育園保育士、私立幼稚園教諭など 150 人

(2) 家庭児童相談

家庭における人間関係の健全化及び児童養育の適正化等、家庭児童福祉の向上を図るため、家庭児童相談員による専門的な相談業務を行う。

相談状況（平成 23 年度）

相談内容	養護相談		保健相談	障害相談						非行相談	育成相談				その他	計
	児童虐待	その他		肢体不自由	視聴覚障害	言語発達障害	重症心身障害	知的障害	自閉症等		性格行動	不登校	適性	育児・しつけ		
継続児童	10	1	1	1	0	21	1	6	8	0	10	0	0	1	0	60
新規児童	11	9	4	0	0	17	0	4	4	0	14	1	1	23	0	88
計	21	10	5	1	0	38	1	10	12	0	24	1	1	24	0	148

2 須崎市虐待被害者等支援対策連絡協議会

要保護児童の早期発見及びその適切な保護のため、情報の収集・意見交換及び具体的な困難事例の研究・対応方法等について検討を行った。

(1) 代表者会議

開催期日 2 月 13 日

検討件数 要保護児童・児童虐待 17 件、高齢者虐待 7 件、障害者虐待 0 件、DV被害 0 件

(2) 児童虐待実務担当者会議

開催期日 7 月 7 日、9 月 27 日、12 月 12 日、3 月 28 日

検討件数 延 76 件

(3) 児童虐待個別ケース検討会議（随時）

開催回数 17 回

対象児童 21 人

(3) 須坂市虐待被害者等支援対策連絡協議会 代表者会議及び実務担当者会議の開催

ア 代表者会議の開催

あらゆる虐待被害に対応するため、これまでの児童虐待・DV被害者支援に高齢者・障害者虐待を加え、組織の名称を「須坂市虐待被害者等支援対策連絡協議会」とし、代表者会議を開催した。

開催期日 2月13日

イ 実務担当者会議の開催

要保護児童の早期発見及びその適切な保護を図るため、実務担当者会議を開催し、情報の収集、意見交換並びに個別検討会議における具体的な困難事例の研究及び対応方法の検討を行った。

開催期日 7月7日、9月27日、12月12日、3月28日

参集者 長野県中央児童相談所、須坂警察署、健康づくり課、市福祉事務所、学校教育課、子ども課

検討件数 延べ76件

(4) ブックスタート事業

誕生の記念として、3か月児健診時に6冊の中から1冊の絵本をプレゼントし、絵本を通して親子のふれあいを深める機会を提供する。

絵本配布冊数(平成23年度)

(3か月児健診対象者 400人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
健診時 受取り	31	34	39	28	29	32	42	40	33	30	31	22	391
図書館 子ども課 受取り	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	3
計	31	34	39	28	29	32	42	40	34	31	32	22	394

(5) 須坂市次世代育成支援行動計画の推進

須坂市次世代育成支援行動計画の推進を図るため、次世代育成支援対策地域協議会である「子育て・子育てを語る広場」を設置し、全体会を2回開催した。また、地域子育て支援部会、母子健康増進部会、教育部会、生活・安全部会の4つの分科会を開催すると共に、推進庁内連絡会議を開催した。

(6) 子育て支援センター

子育て家庭等に対する育児不安等についての指導、子育てサークル等への支援などを通して、地域の子育て家庭に対する育児支援を行うと共に、地域全体で子育てを支援する基盤の形成を図る。

ア 施設の概要

沿 革

開設 平成13年4月 須坂市立高甫保育園内に「須坂市子育て支援センター」として事業を開設民生部福祉課所管

移設 平成 17 年 4 月 中央児童センター（須坂市大字須坂 1212 番地 1）内に併設となる

イ 事業実施状況

区分	開所 日数 (日)	親 子			小 学 生	中 学 生	そ の 他	子育て広場の支援				
		親	子	計				回数 (回)	親	子	計	場 所
4 月	25	685	865	1,550	139	1	40	4	44	50	94	井上・豊洲・高橋地域公民館・仁礼コミュニティセンター
5 月	23	663	836	1,499	240	0	46	5	52	61	113	井上・高橋・高甫地域公民館・相森公会堂・仁礼コミュニティセンター
6 月	26	781	997	1,778	183	2	185	4	33	34	67	大谷・豊洲・相森・高甫地域公民館
7 月	25	799	1,040	1,839	166	34	45	6	71	80	151	井上・豊洲・高甫地域公民館・相森・高橋公会堂・仁礼コミュニティセンター
8 月	27	824	1,083	1,907	174	10	44	4	47	55	102	井上・豊洲地域公民館・高橋公会堂・仁礼コミュニティセンター
9 月	24	802	1,068	1,870	124	18	7	6	61	73	134	豊洲・高甫・井上地域公民館・相森・大谷・高橋公会堂
10 月	25	759	1,003	1,762	119	0	23	3	57	71	128	井上地域公民館・高橋公会堂・仁礼コミュニティセンター
11 月	24	659	923	1,582	93	11	14	2	19	22	41	豊洲・高甫地域公民館
12 月	23	545	737	1,282	129	1	14	5	106	106	212	井上・豊洲・高甫地域公民館・高橋・相森(大谷)公会堂
1 月	23	606	846	1,452	43	0	29	5	54	60	114	井上・高甫地域公民館 高橋町・相森町公会堂 仁礼コミュニティセンター
2 月	24	615	877	1,492	46	0	47	5	53	58	111	井上・豊洲地域公民館 仁礼コミュニティセンター 高橋町・相森町公会堂
3 月	26	764	1,057	1,821	153	7	39	4	48	56	104	井上・豊洲・高甫地域公民館・高橋公会堂
計	295	8,502	11,332	19,834	1,609	84	533	53	645	726	1,371	

※「その他」については馬場町老人会、馬場町卓球クラブなどによる利用。

ウ 子育てミニ講座の開催

開催期日	内 容	参加数（人）
4 月 21 日	乳幼児救急看護法	親 5

4月 22日	子どもの身体の発達と病気	親 8
5月 14日	親子リズム	親 11、子 10
6月 1日	歯科指導	親 14、子 19
6月 7日	赤ちゃんマッサージ	親 20、子 20
7月 6日	七夕コンサート	親 32、子 27
10月 12日	歯科指導	親 17、子 22
11月 17日	乳幼児救急看護法	親 9
11月 18日	子どもの身体の発達と病気	親 9
11月 29日	赤ちゃんマッサージ	親 12、子 12
12月 14日	クリスマスコンサート	親 43、子 61
2月 22日	園長育児講座	親 8、子 10
2月 28日	赤ちゃんマッサージ	親 18、子 18
3月 21日	ピアノ&エレクトーンコンサート	親 30、子 45
計		親 236、子 244

エ すくすく育児ランド

親であることの自覚と責任を持ち育児に必要な知識を学ぶため、すくすく育児ランドを開催した。

区分	開催期日	内 容	参加数 親（人）	託児数 （人）
前期	5月 24日	講話「子どもの栄養と食事」、調理実習・試食	16	18
	5月 31日	講話「乳幼児期の親子の関わり」	15	18
	6月 14日	検診「骨密度・体組成測定」、生活習慣病予防の 話	14	18
	6月 21日	講話「絵本は心の栄養」	19	22
	6月 28日	グループワーク	13	17
	計		77	93
後期	9月 27日	講話「子どもの栄養と食事」、調理実習・試食	14	16
	10月 2日	検診「骨密度・体組成測定」、生活習慣病予防の 話	13	15
	10月 13日	講話「乳幼児期の親子の関わり」	13	13
	11月 8日	講話「絵本は心の栄養」	7	9
	11月 15日	グループワーク	11	13
	計		58	66

オ お父さんの育児講座

夫婦が共に子育てをする土壌の醸成と、父親の家庭教育力の向上を目指したセミナーを開催した。

開催日	内 容	参加数（人）
7月 23日	「親子ふれあい遊び」	6
10月 15日	パパの料理教室	4
11月 8日	「絵本はこころの栄養」	2

開催日	内 容	参加数（人）
計		12

カ ピアママサロン

子育てという同じ境遇の母親が、子育てについて共に考え、思いや経験を共有しあう中からサポートしあう関係を作り上げ、育児の孤立やストレスの軽減を図るため、ピアママサロンを開催した。

開催期日	内 容	参加数 親（人）	託児数 （人）
9月 13日	グランドルール、バースディライン、自己紹介	20	26
10月 4日	ピアカウンセリング、八つの誓約	17	23
10月 21日	私の大切にしていること、自己開示、認知、他者理解	18	23
10月 28日	価値の討論、私は何の花？私のここが好き	17	23
11月 2日	私の夢、ワイワイ会議、これから自分にできること	18	22
計		90	117

キ 中高生と赤ちゃんのふれあい事業

次代の親となる中学生・高校生が赤ちゃんと接し、子育て中の母親の話を聞くことで、命の大切さや、妊娠や出産について正しい知識をもち、結婚や親となることについて考えるきっかけづくりのため実施した。

- (1) 事前講習会 3月10日
- (2) 赤ちゃんとのふれあい 3月26日 参加者 29人（中学生2人、高校生15人、親子12人）

(7) ファミリー・サポート・センター事業

子育ての援助を行いたい者と、援助を受けたい者が会員として登録し、子育ての相互援助活動を支援した。

ア 説明会開催 2回

イ 育児・サポート講習会

開催期日	内 容	参加数（人）
4月 21日	保育のこころと遊び	2
	乳幼児の身体の発達と病気	8
	これからの活動にあたって	2
4月 22日	子どもの食事と栄養	9
	乳幼児の救急看護法	5
11月 17日	保育のこころと遊び	3
	乳幼児の救急看護法	9
11月 18日	乳幼児の身体の発達と病気	9
	子どもの食事と栄養	4
	これからの活動にあたって	2

ウ ファミリー・サポート・センター運営協議会

事業説明と今後の課題について協議した。

7月21日 出席者12人（会員、母親クラブ代表、子育てにかかわる団体代表）

エ 会員交流会

会員相互の情報交換と親睦を兼ね、交流会を開催した。

5月14日 参加者21人（依頼会員9人、提供会員2人、子10人）

オ レベルアップ講習会

提供会員のレベルアップを行う。

3月15日 参加者7人

カ 登録状況（平成24年3月31日現在）（人）

依頼会員数	提供会員数	両方会員数	計
148	35	12	195

(8) 心身障害児母子通園訓練施設「はげみ園」

心身障害児母子通園訓練施設「はげみ園」において、心身障がい児が保護者とともに通園し、心身発達のための保育、機能訓練及び生活指導を受け、児童の発達訓練と育成を図る。

ア 施設の概要 福祉会館内に併設

沿 革

開設 昭和51年4月 須坂市心身障害児母子通園訓練施設として、中央児童館（須坂市大字須坂1212番地1）内に開設

民生部福祉課所管

中央児童館にて入園式举行 園児23名

昭和51年10月 「はげみ園」開園式举行

昭和54年12月 はげみ園増築工事完了

昭和58年8～11月 はげみ園・はげみ会を含む身障6団体 福祉会館建設につき市へ陳情

移設 昭和61年4月 須坂市福祉会館（須坂市大字須坂1218番地）開館にともない「はげみ園」移設

平成18年4月 教育委員会子ども課に所管替え

利用状況（平成23年度）

在籍児童数（平成23年4月） （人）	利用延人員 （人）	年 齢 区 分（平成20年4月）（人）	
		3歳未満児	3歳～6歳未満
2	419	0	2

訓練の状況（平成20年度）

	訓練回数（回）	延人員（人）
言語療法	12	32
作業療法	12	39
音楽療法	9	26

2 保育園・幼稚園

(1) 保育園

(平成23年4月1日現在)

保育園名	公私別	所在地	園長名	定員(人)	園児数(人)
須坂東部保育園	公立	大字日滝1185番地1	久保田純子	150	162
須坂保育園	公立	大字小山1274番地	岩崎章子	120	103
日野保育園	公立	大字塩川188番地9	古川和代	150	161
高甫保育園	公立	大字野辺1097番地1	丸山克江	90	76
井上保育園	公立	大字幸高82番地2	月原京子	120	132
北旭ヶ丘保育園	公立	大字小河原3133番地1	高野てるみ	90	80
須坂千曲保育園	公立	大字中島1265番地	平出永子	60	35
豊丘保育園	公立	大字豊丘2440番地1	羽生田秀子	60	29
仁礼保育園	公立	大字仁礼120番地	塚田厚子	60	56
相之島保育園	公立	大字相之島711番地2	藤沢滝子	60	47
夏端保育園	公立	大字亀倉10番地58	本藤洋子	60	51
上高井保育園	私立	大字須坂1355番地1	内藤格	60	62
豊洲保育園	私立	大字小河原2405番地1	浅井杉子	60	51
みつばち保育園	私立	大字須坂1211番地5	小林庸高	80	75
やすらぎ保育園	私立	大字日滝2887番地1	牧和枝	30	24
さかた山風の子保育園	私立	大字坂田218番地2	永井富士子	90	70
計 16 園				1,340	1,214

(2) 幼稚園

(平成23年5月1日現在)

園名	公私別	所在地	園長名	園児数(人)	備考
旭ヶ丘幼稚園	私立	旭ヶ丘町	浅井宏昭	22	
泉園幼稚園	私立	常盤町	清水千鶴子	48	
須坂双葉幼稚園	私立	墨坂四丁目	垂沢恵子	100	
須坂マリア幼稚園	私立	春木町	安藤誠	85	
山びこ幼稚園	私立	臥竜四丁目	曾澤富美子	126	
豊幼稚園	私立	東横町	関二司光	64	
計 6 園				445	

(3) 保育園給食

ア 保育園給食のねらい

- ① 子どもの心身の健全な発育・発達・健康の保持を図る。
- ② 食生活に対する理解と望ましい食習慣を養う。
- ③ 保育園での生活を豊かにし、明るい人間関係を養う。
- ④ 保育園給食を通して、児童の家庭及び地域社会の食生活改善に寄与する。

イ 食育活動の推進について

食育を“毎日の園生活に根づいたもの”と位置づけ、魅力ある食育を推進し子どもの健全な心身の成長を図ることを目的とし、様々な食に関わる体験から“食”についての興味を広げ食べる意欲を育てる。

- ① 毎日の給食を媒体とし「楽しい食事年間計画」に基づいた食育活動の実施。（調理技術員との食事、給食のサンプル展示、保育園のもりもり給食ブログ、栄養士食育指導等）
- ② 野菜の栽培、収穫体験の実施
- ③ 収穫祭、親子クッキング、給食の手伝い等の調理活動の実施
- ④ 祖父母など異世代との交流活動を通し、伝統食・郷土料理など食文化について知る。
- ⑤ 給食活動、食育体験を通し、食に関わる興味を広げる。

ウ 給食運営について

① 衛生管理

(ア) 保育園給食安全管理マニュアルに沿った衛生管理の実施

(イ) 保育園職員保菌検査の実施(赤痢菌・サルモネラ菌・大腸菌群・大腸菌O-157)

調理技術員及び乳児担当保育士	37人×20回
代替調理技術員及び栄養士	23人×12回
乳児担当以外の保育士	122人×2回
代替保育士	22人×2回

(ウ) 食材検査

・サンコリテップによる簡易検査の実施(月1回)

・細菌検査実施業者による食材細菌検査(一般細菌・大腸菌群・大腸菌O-157)年2回

- ② 栄養管理 身体状況調査・主食量調査・食生活アンケート等に基づき栄養計画の作成、実施
- ③ 献立会議 各園給食担当者が参加。献立内容及び調理工程等の検討(月1回)
- ④ その他 アレルギー除去食の対応、肥満児指導、食事相談の実施

年間給食実施数

(単位:食)

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
給食実施食数	317,015	303,532	295,520	304,047	285,267
給食実施数(園児のみ)	271,458	259,072	249,942	255,589	238,451

1食当たり給食単価

(単位:円)

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
3歳未満児	398	401	403	401	399
3歳以上児	241	243	244	243	242

(4) 保育園の施設整備状況

年 度	整 備 内 容	事 業 費 (円)
平成 22 年度	H23. 3. 31 須坂南保育園閉園 ※ H23. 4. 1 より民間活力導入 (福)わらべ福祉会「さかた山 風の子保育園開園」	私立保育所施設整備事業補助金 158,897,000

	仁礼・夏端統合保育園実施設計業務委託	11,550,000
平成 23 年度	仁礼・夏端統合保育園建設工事 木造平屋建て 定員 120 人 建築面積 1,332.10 m ² 延床面積 1,311.30 m ²	建築主体 186,900,000 電気設備 43,302,000 機械設備 43,050,000 監理業務 4,935,000
	須坂保育園設計業務委託	11,518,500
	高甫保育園設計業務委託	8,752,800
	須坂保育園建設工事（H24 への繰越し事業） 一部鉄筋コンクリート造平屋建て 定員 120 人	前払金 128,440,000 (繰越明許費 200,000,000)
	高甫保育園建設工事（H24 への繰越し事業） 木造平屋建て 定員 90 人	前払金 0 (繰越明許費 280,000,000)

3 子ども手当等の支給

(1) 子ども手当

法令に基づき、児童を養育している方に手当を支給することにより、家庭における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健全な育成及び資質の向上に資する。

【平成 23 年度の支給状況】

ア 平成 23 年 2 月～9 月支給分

「平成 22 年度等における子ども手当の支給に関する法律」に基づく支給

- ・ 0 歳から中学校終了前までの子ども 一律月額 13,000 円を支給

区 分	月 額 区 分 (円)	延 児 童 数 (人)	支 給 金 額 (円)
0 歳から 3 歳未満 被用者	13,000	7,440	96,720,000
0 歳から 3 歳未満非被用者	13,000	1,847	24,011,000
3 歳以上小学校終了前 被用者	13,000	25,901	336,713,000
3 歳以上小学校終了前非被用者	13,000	7,881	102,453,000
小学校修了後中学校終了前	13,000	11,690	151,970,000
計		54,759	711,867,000

イ 平成 23 年 10 月～平成 24 年 1 月支給分

「平成 23 年度における子ども手当の支給に関する特別措置法」に基づく支給

- ・ 0 歳から 3 歳未満の子ども 月額 15,000 円を支給
- ・ 3 歳以上小学校終了前までの子ども 月額 10,000 円を支給（第 3 子以降は 15,000 円）
- ・ 小学校修了後中学校終了前までの子ども 月額 10,000 円を支給

区 分	月 額 区 分 (円)	延 児 童 数 (人)	支 給 金 額 (円)
0 歳から 3 歳未満 被用者	15,000	3,776	56,640,000
0 歳から 3 歳未満非被用者	15,000	833	12,495,000
3 歳以上小学校終了前 被用者 (第 1 子・2 子)	10,000	11,687	116,870,000
3 歳以上小学校終了前 被用者 (第 3 子)	15,000	1,714	25,710,000
3 歳以上小学校終了前非被用者 (第 1 子・2 子)	10,000	3,175	31,750,000
3 歳以上小学校終了前非被用者	15,000	599	8,985,000

区 分	月 額 区 分 (円)	延 児 童 数 (人)	支 給 金 額 (円)
(第3子)			
小学校修了後中学校終了前	10,000	5,847	58,470,000
計		27,631	310,920,000

ウ 支給額合計 1,022,787,000 円

(2) 児童扶養手当

平成23年度の支給状況

- ・所得により算定された金額（平成24年3月31日現在 月額9,810円から月額41,550円）
- ・第2子加算5,000円 第3子以上加算3,000円
- ・延受給者数4,778人 支給総額 182,908,470円

(3) 特別児童扶養手当（国委託事業）

平成23年度の受給権者数 109人（平成23年3月31日現在）

4 児童・青少年健全育成事業

(1) 都市宣言

未来を担う児童・青少年育成都市宣言

（平成12年12月14日宣言）

明日の須坂市を担う児童・青少年が心身ともに健やかに、たくましく、美しく成長することは市民すべての願いである。

この願いを実現し、児童・青少年の輝かしい未来をひらくために、すべての大人が児童・青少年の先達としてその姿勢を正し、なによりも児童・青少年の生命と人権を擁護し尊重するとともに、児童・青少年の問題について一層の関心を高め、家庭・学校・地域が一体となり、市民の心と英知をあつめ、総力をあげて未来を担う児童・青少年の育成に努めなければならない。

よって、21世紀の新しい時代、決意も新たに須坂市を「未来を担う児童・青少年育成都市」とすることを宣言する。

(2) 未来を担う人づくり運動

今日の急激な社会構造の変化や地域連帯感の低下等から児童青少年をとりまく社会環境も悪化し、少年非行は第4のピークを迎えつつあり極めて憂慮すべき状態にある。

このようなときにあたり、未来を担う児童青少年を「たくましく心豊かに」育成することは、現代社会に生きるものの責務である。平成12年12月14日制定の「未来を担う児童・青少年育成都市宣言」を受けて次代を担う児童青少年の健全育成をより幅広く展開するため、地域社会、家庭、学校、行政の各分野における責任と役割を自覚しその使命を果たすため市民総ぐるみで「未来を担う人づくり運動」を積極的に取り組むものである。

(3) 児童青少年総合対策本部

昭和40年、児童青少年の健全育成に関する総合的な計画を樹立し、関係機関、団体と緊密に連携を図り健全育成事業を推進するため、市長を本部長とし、副市長、教育長を副本部長、本部長

をもって構成した総合的対策本部を設置して、実践活動の推進を図り現在に至る。

(4) **子育てセミナー（家庭教育講座）**

昭和55年「未来を担う人づくり運動」の一環として、母親大学（家庭教育講座）を発足させた。平成9年度より、子育てセミナーと改称し、親の責任と役割の自覚を高めると共に地域で地域の子育てをねらいとし、子どもの発達段階に応じた家庭教育や地域社会における子育てのあり方を学習し、明るい家庭・明るい地域づくりの基盤に資するため、児童青少年総合対策本部が主体となり、育成会・幼稚園・保育園と協力して各町、各園で開催している。

(5) **少年球技大会**

児童青少年総合対策本部の重点目標である、たくましい心と体力をつくる運動の一環として、毎年8月、小学生を対象に少年球技大会（ソフトボール昭和41年～、ドッジボール昭和49年～）を開催している。

(6) **姉妹都市三浦市との親善訪問交歓**

昭和49年4月23日、市制施行20周年記念事業の一環として、神奈川県三浦市と姉妹都市が提携され、その事業のひとつとして毎年夏休み中に両市の児童・生徒が、お互いに訪問しあい親善交流を深めている。平成23年度は三浦市から31名、須坂市から36名がそれぞれ訪問交歓した。

(7) **育成会活動**

昭和40年、児童青少年の健全育成を目的として、市内51町に育成会を設置し、その後、東村の合併、新興団地の造成により、現在市内69町に育成会が設置されている。また、平成23年度は、各町育成会活動交付金として7,698千円が予算化されている。

(8) **児童青少年育成センター**

昭和42年、児童青少年総合対策本部の実施機関として、青少年の健全育成に関係のある機関団体並びに民間有識者の協力により、主として街頭巡視活動を通じて愛護指導、早期補導、環境浄化、情報活動等を行う。平成21年度は育成委員85名、小学校単位にブロックを構成して活動している。

(9) **運動施設整備事業**

地域における児童青少年の健全育成を推進するため、育成会等の自主活動により運動施設を設置する事業経費に対し補助金を交付する。

(10) **農業小学校運営事業**

子どもたちの健やかな成長に欠かせない、自然・体験活動不足の現状を考慮し、子どもたちがたくましい精神力・創造力等を身につけることを願い、総合的・自主的な体験活動の場として、年間を通した農業小学校を開設した。異年齢の子どもたちや保護者、地域の大人（農家先生26名）とふれあうことにより、相互の仲間づくりや世代間交流、地域連帯感を養うとともに、地域の文化に触れることにより、ふるさと須坂の良さを再発見する手助けをする。農業小学校は、平成17年度に開校

し、平成23年度は市内全域及び市外から募集した子ども58名が、月2回（計18回）、土曜日等の午前中、農作業や遠足、そば打ち、餅つき等豊富なプログラムに取り組んでいる。

Ⅵ 生涯学習スポーツ課

1 沿 革

- 昭和40年 児童青少年総合対策本部が発足・各町単位に育成会を設置
- 昭和41年 少年球技大会がはじまる。
- 昭和42年 企画課内に児童青少年育成センターを設置（44年に教育委員会に移管）
- 昭和43年 花いっぱいコンクールがはじまる。
- 昭和44年 文化財保護条例を制定・社会教育委員を設置
- 昭和46年 教育委員会が課制となり社会教育課が新設される。
- 昭和47年 キッチンダイヤル始める。（昭和52年廃止）
- 昭和49年 新生活運動推進委員会が発足
神奈川県三浦市と姉妹都市が提携され、小中学生の親善訪問がはじまる。
- 昭和52年 体育課新設
- 昭和55年 「未来を担う人づくり運動」の展開
母親大学（家庭教育講座）の開講（昭和57年から母親、父親大学と改称）
児童青少年育成市民会議の発足・婦人問題懇談会の発足
- 昭和58年 文化財調査委員会の設置
- 昭和59年 社会教育課内に婦人係設置・文化財取得基金の設置
文化財保護条例を全部改正し文化財の保存及び活用に関する条例を制定する。
- 昭和61年 須坂市指定文化財として新たに9件指定する。
- 昭和62年 市内の祭屋台を一斉に公開展示する。
- 昭和63年 須坂市ミニ博物館設置事業補助金交付要綱を制定する。
社会教育課内に文化施設建設係設置
- 平成元年 文化施設建設係を文化施設建設室とする。
須坂市指定文化財として新たに10件指定する。
- 平成2年 婦人問題庁内連絡会の設置
- 平成3年 社会教育課内に文化係設置・文化施設建設室を廃止した。
須坂市指定文化財として新たに8件指定する。
- 平成4年 女性行動計画推進委員会設置・女性行動計画推進庁内連絡会設置・生涯学習推進研究委員会の設置
須坂市指定文化財として新たに1件指定する。
- 平成5年 社会教育課に生涯学習室を設置・生涯学習推進委員会設置
女性プラン推進市民会議設置・婦人係を女性係とする。
須坂市生涯学習基本構想を策定
須坂市指定文化財として新たに2件指定する。
- 平成6年 須坂市指定文化財として新たに5件指定する。
- 平成7年 生涯学習推進市民会議設置・社会教育課に女性室を設置。生涯学習室を公民館内に移設
須坂市指定文化財として新たに3件指定する。
- 平成9年 社会教育課を生涯学習課に、生涯学習室を生涯学習推進センターとする。
家庭教育講座「母親・父親大学」を「子育てセミナー」に改称する。

- 須坂市指定文化財として新たに2件指定する。
- 平成10年 生涯学習推進研究委員会を廃止。
生涯学習推進委員会を廃止。
生涯学習まちづくり庁内推進委員会設置。
- 平成11年 ガイドセンターを改修し、シルキープラザを設置する。
岩波書店、信濃毎日新聞社の協力により信州岩波講座を開講する。
生涯学習推進員設置。
- 平成12年 未来を担う児童・青少年育成都市を宣言する。
須坂市指定文化財として新たに2件指定する。
- 平成13年 すざか女性未来館を所管する。
- 平成14年 須坂市生涯学習推進協議会を設置
- 平成17年 勤労青少年ホーム創造の家を所管する。
- 平成18年 青少年係を新設の子ども課に移し、生涯学習課と体育課を統合して生涯学習係、文化財係及び体育振興係の3係とし、生涯学習体育課とする。
峰の原高原自然体験センターを所管する。
須坂市指定文化財として新たに1件指定する。
- 平成19年 須坂市旧上高井郡役所を所管する。
須坂市指定文化財として新たに3件指定する。
- 平成20年 須坂市指定文化財として新たに2件指定する。
- 平成21年 機構改革により、生涯学習部門を市長部局へ移管。文化財保護・図書館・博物館業務及び学校施設開放業務は、市長部局補助執行となる。
須坂市旧上高井郡役所を公民館の所管とする。
生涯学習体育課を、生涯学習スポーツ課とし、体育振興係をスポーツ振興係とする。
須坂市指定文化財として新たに2件指定する。
- 平成22年 須坂市子ども読書活動推進計画を策定する。
峰の原高原自然体験センターを廃止する。
須坂市指定文化財として新たに8件指定する。
- 平成23年 文化芸術振興ビジョンを策定する。
ふれあい館まゆぐら2階に須坂市立博物館まゆぐら分館を設置。
須坂市指定文化財として新たに11件指定する。

2 生涯学習の推進

社会における情報化、国際化、高齢化の進展に対応し、人々は新しい知識や技術を継続的に学習する必要が求められている。

さらに、市民の生活水準の向上、高学歴化、週休2日制の導入に伴う自由時間の増大等を背景に、生きがいを求める市民の価値観は、多様化してきている。

このような社会環境の変化に伴い、教育に対する人々の要求や学習活動も極めて多岐多様に及んでいる。

須坂市では、平成5年3月に生涯学習基本構想を策定し、「豊かな心と、生きがいある人生の実現—心豊かな人づくり、まちづくり」を目指して、いつでも、どこでも、だれでも、学び活動でき

るような学習環境の整備・充実を図りながら生涯学習の推進に努める。

(1) 生涯学習の啓発

「生涯学習推進センターだより」の発行及び「生涯学習市民のつどい」の開催等により、生涯学習の啓発・普及に努める。

(2) 生涯学習情報の収集及び提供

市の生涯学習データベースの整備を進め活用を図る。また「まなび一歩情報」を発行し、生涯学習情報の提供に努める。

(3) 生涯学習相談

随時、市民の学習相談に応じる。

(4) 生涯学習講座の開催

市民一人ひとりの生きがいの充実と郷土に誇りと愛着をもってまちづくりをすすめるため、ふるさと須坂を学習材とし体験的・実践的に学ぶ「生涯学習すざか学舎」を開講する。

(5) 生涯学習指導者の養成及び研修

公益信託駒澤嘉須坂生涯学習振興基金の運用を受け、文部科学省認定社会通信教育「生涯学習指導者養成講座／ボランティアコース」の受講者を支援する。

また、須坂市の生涯学習活動の推進役である生涯学習推進員の意識と資質向上を図る。

(6) 生涯学習ボランティアの支援

須坂市生涯学習基本構想が掲げる「豊かな心と生きがいのある人生の実現～心豊かな人づくり、まちづくり」という基本的な目標に基づき、須坂市生涯学習ボランティアネットワークを支援する。

(7) 生涯学習によるまちづくりの推進

市民が市政に関する理解を深め、市のまちづくりの課題等に関する知識を習得する講座のほか、市民が持つ技能技術を活かす講座、地元企業の技術や製品が学べる工場見学の講座など生涯学習によるまちづくりの推進に寄与するため、『生涯学習まちづくり出前講座』の一層の充実と活用を推進する。

また、市民に須坂市の自然・歴史・文化などの素晴らしさを再発見していただくため、市内見学「まなび一号」（ふるさと須坂お宝発見コース）の運行及び「まなび一隊」（蔵の町並み巡りコース）を実施する。

(8) 関係機関・団体との連携と調整

生涯学習関連施設（講座等）の総合的な調整を図るため、関係機関・団体との連携及び調整に努める。

(9) 生涯学習推進体制

生涯学習推進員と生涯学習まちづくり庁内推進委員会による施策展開を進め、生涯学習施策の企画運営に努める。

3 文化財保護

(1) 基本方針

指定文化財を「須坂市のおたから」として、市民が親しみやすく接することができるものにしていくとともに、積極的に文化財の調査や研究を実施することで、貴重な文化財の保護事業を展開する。また、調査・研究等に関わるすべての情報を、学習教材としてわかりやすく市民に公開し、市民とともに文化財を愛護し生かす。

その具体的施策として、説明板を設置し市民の学習資料として活用する。また文化財の基礎資料の調査、調査・研究資料及び指定文化財の公開等を積極的に実施していく。

(2) 主要事業

ア 市誌編さん事業

市誌発刊に向け、専門家を配置すると共に、史料収集及び整理、目録化を進める。収集した古文書等の史料は、須坂の歴史を研究する上において大変重要な史料であり、劣化が激しいものや、未整理のものもあるため、よりよい保存と活用の施策を講じる。

イ 県天然記念物高山蝶保護事業

破風高原、峰の原高原に生息する「ベニヒカゲ」「ミヤマモンキチョウ」の違法捕獲防止パトロールと、生息環境保護のための笹刈りを実施するとともに、市民へのPR活動として自然保護観察会を開催する。

指定文化財一覧

平成24年3月31日現在 ※所有者は指定当時

番号	名 称 等	所 在 地	※所 有 者	指定年月日
----	-------	-------	--------	-------

◆国指定文化財 1件

特別天然記念物				
1	カモシカ (偶蹄目：ウシの仲間)	市内山間地		昭和30年2月15日

◆県指定文化財 6件

無形民俗文化財				
1	野辺の来迎念仏 (念仏踊り)	大字野辺（野辺町）	野辺来迎念仏 保存会	平成9年8月14日
史 跡				
2	八丁鎧塚（積石塚古墳）	大字八町字鎧塚 287, 285 （上八町）	上八町、須坂 市	昭和40年2月25日
3	井上氏城跡（中世城館跡）	大字井上 2474 ほか （井上町）（館跡）	一色利雄 ほか	昭和40年2月25日
		大字井上 3269 ほか （井上町）（山城）		
天然記念物				
4	ミヤマモンキチョウ （高山蝶）	峰の原高原		昭和50年2月24日
5	ベニヒカゲ （高山蝶）	破風高原・峰の原高原		昭和50年2月24日

6	井上の枕状溶岩 (自然現象)	大字井上 3274 十九ヶ塙 (井上町)	峯村勝徳	平成 4 年 2 月 20 日
---	-------------------	-------------------------	------	-----------------

◆市指定文化財 88 件

有形文化財				
1	勝善寺文書（中世古文書）	大字須坂 122（本上町）勝善寺	同 左	昭和 45 年 5 月 25 日
2	八丁鎧塚出土品 (考古資料)	臥竜 2-4-1 須坂市立博物館	須坂市	昭和 45 年 5 月 25 日
3	人物埴輪（考古資料）	臥竜 2-4-1 須坂市立博物館	霧原大元神社	昭和 45 年 5 月 25 日
16	郷倉（建造物）	大字仁礼 1084-1（仁礼町）湯河原	（財）仁礼会	昭和 50 年 4 月 1 日
17	時の鐘の「鐘楼」（建造物）	大字須坂 756（常盤町）	須坂市	昭和 50 年 4 月 1 日
20	須坂園芸高校出土の 弥生式土器(考古資料)	臥竜 2-4-1 須坂市立博物館	須坂園芸高校	昭和 55 年 9 月 20 日
21	木造聖徳太子立像（彫刻）	大字小山 353（南原町）普願寺	同 左	昭和 59 年 6 月 1 日
22	木造不動明王立像（彫刻）	大字米子 1057（米子町）不動寺	同 左	昭和 59 年 6 月 1 日
23	木造百万塔（工芸品）	臥竜 2-4-1 須坂市立博物館	須坂市	昭和 61 年 10 月 17 日
32	天神一号墳出土品 (考古資料)	臥竜 2-4-1 須坂市立博物館	須坂市	平成元年 10 月 1 日
33	須坂吉向焼（工芸品）	大字小山 476 ほか (穀町) 田中本家博物館 ほか	同 左 ほか	平成元年 10 月 1 日 追加名称変更 平成 24 年 3 月 30 日
34	木造秋葉三尺坊 大権現神像（彫刻）	大字日滝 629（本郷町）蓮生寺	同 左	平成元年 10 月 1 日
35	蓮生寺絵馬（美術）	臥竜 2-4-1 須坂市立博物館	蓮生寺	平成元年 10 月 1 日
36	福島の大幟（書）	大字福島 191 (福島町) 福島天神社	同 左	平成元年 10 月 1 日
37	銅製鰐口（金工品）	大字井上 2579（井上町）小坂神社	同 左	平成元年 10 月 1 日
38	臥竜山百番観音（石造物）	臥竜 3 丁目 ほか（臥竜山）	興国寺	平成元年 10 月 1 日
42	普願寺本堂と鐘楼 (建造物)	大字小山 353（南原町）普願寺	同 左	平成 4 年 1 月 4 日
43	著色天井絵大鷲図（美術）	大字沼目 494-2 (沼目町) 沼目薬師堂	沼目町	平成 4 年 1 月 4 日
44	木造薬師如来座像（彫刻）	大字沼目 494-2 (沼目町) 沼目薬師堂	沼目町	平成 4 年 1 月 4 日
45	ステンドグラス（工芸品）	臥竜 2-4-1 須坂市立博物館	須坂市	平成 4 年 1 月 4 日
46	庚申塔（石造物）	大字福島 175（福島町）西福寺	同 左	平成 4 年 1 月 4 日
47	滝山不動寺奥の院 (建造物)	大字米子 1421（米子町）奥の院	滝山不動寺	平成 4 年 1 月 4 日
50	旧園里学校（建造物）	大字豊丘 1076（豊丘上町）新田	須坂市	平成 5 年 4 月 1 日
52	丸山家文書（近世古文書）	臥竜 2-4-1 須坂市立博物館	須坂市	平成 6 年 1 月 4 日

53	円光寺太鼓堂（建造物）	大字小山 360（南原町）円光寺	同 左	平成 6 年 9 月 1 日
58	元牧新七家（建造物）	大字須坂 371-6 東横町（クラシック美術館）	須坂市	平成 7 年 1 月 4 日
59	絹本著色釈迦三尊像 （絵画）	大字井上 2618（井上町）浄運寺	同 左	平成 8 年 1 月 4 日
60	本郷大塚古墳出土品 （考古資料）	臥竜 2-4-1 須坂市立博物館	（社）日滝史 蹟保存会	平成 8 年 1 月 4 日
62	奇妙山石仏群と千体仏	大字米子 86・チほか （米子町）（石仏群）	長野営林署、 万竜寺	平成 9 年 5 月 1 日
		大字亀倉 424（亀倉町）（千体仏）		
64	大日如来道標（石造物）	大字豊丘 3279-3（豊丘上町）	豊丘水利組合	平成 12 年 4 月 1 日
67	太子堂と聖徳太子絵伝 （建造物・絵）	大字須坂 900-2（太子町）	須坂市、太子 町	平成 19 年 12 月 6 日
72	浄運寺本堂（建造物）	大字井上 2618（井上町）	浄運寺	平成 22 年 3 月 9 日
73	東照寺本堂の欄間	大字米子 463（米子町）	東照寺	平成 22 年 3 月 9 日
74	姦譜	臥竜 2-4-1 須坂市立博物館	同左	平成 23 年 3 月 31 日
82	出山釈迦如来立像（彫刻）	大字井上 2618（井上町）	浄運寺	平成 24 年 2 月 29 日
83	浄運寺の六角堂（建造物）	大字井上 2618（井上町）	浄運寺	平成 24 年 2 月 29 日
84	旧牧家（建造物）	大字野辺 1386-8 須坂市歴史的建物園	須坂市	平成 24 年 2 月 29 日
85	元板倉家（建造物）	大字野辺 1386-8 須坂市歴史的建物園	須坂市	平成 24 年 2 月 29 日
86	長屋門（建造物）	大字野辺 1386-8 須坂市歴史的建物園	須坂市	平成 24 年 2 月 29 日
87	武家長屋（建造物）	大字野辺 1386-8 須坂市歴史的建物園	須坂市	平成 24 年 2 月 29 日
88	鋤絵「牛乃乳」	大字須坂 812-2（常盤町） 須坂市旧上高井郡役所	須坂市	平成 24 年 2 月 29 日
89	中澤吉四郎家文書 （近代文書）	大字須坂 812-2（常盤町） 須坂市旧上高井郡役所	須坂市	平成 24 年 2 月 29 日
無形文化財				
68	古川清行刀匠（工芸技術）	大字八町（下八町）	古川信夫	平成 19 年 12 月 6 日
有形民俗文化財				
51	笠鉾・屋台（祭事用具）	大字須坂 410-1（横町）笠鉾会館	穀町ほか 12 町	平成 5 年 1 月 4 日
無形民俗文化財				
18	獅子狂言「梅川」（獅子舞）	大字村山（村山町）	村山神楽保存 会	昭和 50 年 4 月 1 日
39	高梨の牛獅子（獅子舞）	大字高梨（高梨町）	高梨太々神楽	平成元年 10 月 1 日

			保存会	
48	上八町の赤熊	大字八町（上八町）	上八町郷土芸能保存会	平成4年1月4日
66	下八町太々神楽（獅子舞）	大字八町（下八町）	下八町太々神楽保存会	平成19年3月13日
史 跡				
4	井上氏史跡（中世遺跡）	大字井上 2916-ロ ほか （井上町）（井上氏墳墓）	井上町 ほか	昭和45年5月25日
		大字井上 3135-1 ほか （井上町）（竹ノ城跡）		
5	福島宿道標（街道遺跡）	大字福島 22-2（福島町）	福島町	昭和45年5月25日
6	須田古城跡（中世山城）	臥竜3丁目 ほか（臥竜山）	興国寺 ほか	昭和45年5月25日
7	吉向焼窯跡（近世古窯跡）	大字坂田 683-2 ほか （穀町）大和合	田中太郎	昭和45年5月25日
8	東行社跡（近代産業遺跡）	大字須坂 785-1 ほか（穀町）	北水社	昭和45年5月25日
9	俊明社跡（近代産業遺跡）	大字須坂 1101-2 ほか（馬場町）	須坂市 ほか	昭和45年5月25日
12	大岩城跡（中世山城）	大字日滝 5153 ほか （本郷町）天狗岩	中村幸保 ほか	昭和47年3月1日
13	石小屋洞穴（洞穴遺跡）	大字仁礼 3164-7 （仁礼町）仁礼山	井上町 ほか 3町	昭和47年3月1日
24	天神1号墳（古墳）	大字米持 775-1 ほか（米持町）	須坂市	昭和61年10月17日
61	本郷大塚古墳（古墳）	大字日滝 751（本郷町）	（社）日滝史蹟保存会	平成8年1月4日
63	奇妙山遺跡（信仰遺跡）	大字米子 国有林 86 ほか （米子町）米子山	長野営林署	平成9年5月1日
65	旧大笹街道峠道 （街道遺跡）	大字仁礼仁礼山・峰の原	（財）仁礼会	平成12年4月1日
名 勝				
10	臥竜山（丘陵）	臥竜3丁目 ほか（臥竜山）	興国寺 ほか	昭和45年5月25日
14	米子の瀑布（滝）	大字米子 1422-1 ほか （米子町）米子山	米子町 ほか	昭和47年3月1日
天然記念物				
15	延命地藏堂の桜（樹木）	大字豊丘 1078-2 （豊丘上町）新田	須坂市	昭和47年3月1日
19	ミヤマツチトリモチ （植物）	大字豊丘字乳山		昭和50年4月1日
25	熊野神社のエノキ（樹木）	大字塩川 536（塩川町）熊野神社	塩川町	昭和61年10月17日
26	別府のオニグルミ（樹木）	大字小河原 2433 （小河原町）田子宅	田子賢	昭和61年10月17日

27	新田のクスギ（樹木）	大字小河原 2703 （新田町）荒井宅	荒井義太郎	昭和 61 年 10 月 17 日
28	仙仁山のハルニレ（樹木）	大字仁礼（仁礼町）山ノ神	（財）仁礼会	昭和 61 年 10 月 17 日
29	万竜寺のクマスギ（樹木）	大字亀倉 424（亀倉町）万竜寺	同 左	昭和 61 年 10 月 17 日
30	墨坂神社社叢（樹林）	墨坂 1-8-1 ほか 墨坂神社	同 左	昭和 61 年 10 月 17 日
31	小坂神社社叢（樹林）	大字井上 2578 ほか （井上町）小坂神社	同 左	昭和 61 年 10 月 17 日
40	臥竜山根あがりねじれ松 （樹木）	臥竜 3 丁目 ほか 臥竜山	興国寺	平成元年 10 月 1 日
49	臥竜梅（樹木）	臥竜 3-3-1 興国寺	同 左	平成 4 年 1 月 4 日
54	大広院のカヤノキ（樹木）	大字八町 2258（下八町）大広院	同 左	平成 6 年 9 月 1 日
56	野辺のオオムラサキ （樹木）	大字野辺 760（野辺町）丸山宅	丸山邦安	平成 6 年 9 月 1 日
57	広正寺のエドヒガン （樹木）	大字野辺 669（野辺町）広正寺	同 左	平成 6 年 9 月 1 日
69	大日向観音堂しだれ桜 （樹木）	大字豊丘上台 230（大日向町）	大日向町	平成 19 年 12 月 6 日
70	長妙寺の桜（樹木）	大字豊丘字内山 2787（豊丘町）	長妙寺	平成 21 年 3 月 12 日
71	弁天さんのしだれ桜 （樹木）	大字豊丘中灰野梅ノ木地区 （豊丘上町）梅ノ木	豊丘上町	平成 21 年 3 月 12 日
75	東照寺の桜（樹木）	大字米子 464（米子町）東照寺	同 左	平成 23 年 3 月 31 日
76	萬龍寺の桜（樹木）	大字亀倉 424（亀倉町）萬龍寺	同 左	平成 23 年 3 月 31 日
77	金毘羅山の桜（樹木）	大 字 亀 倉 427- イ 、 886- ロ （亀倉町）	同 左	平成 23 年 3 月 31 日
78	亀倉神社の桜（樹木）	大字亀倉字本郷 412 （亀倉町）亀倉神社	亀倉神社（亀倉町）	平成 23 年 3 月 31 日
79	高顕寺の桜（樹木）	大字仁礼字大狭 873-ハ 876-イ （仁礼町）高顕寺	同 左	平成 23 年 3 月 31 日
80	大広院の桜（樹木）	大字八町 2260-2 （下八町）大広院	同 左	平成 23 年 3 月 31 日
81	洞入観音堂のイチョウ （樹木）	大字豊丘字洞入 2638-1 （豊丘町）洞入観音堂	同 左	平成 23 年 3 月 31 日
90	豊丘の穴水（自然現象）	大字豊丘 3321-22	須坂市豊丘財産区	平成 24 年 2 月 29 日
91	西五味池のモミの木 （樹木）	大字豊丘 3321-1	須坂市豊丘財産区	平成 24 年 2 月 29 日
◆登録有形文化財 5 件				
	旧越家住宅	大字須坂 435-2 ほか（春木町）	須坂市	平成 15 年 9 月 19 日
	ふれあい館しらふじ	大字須坂 32-1（本上町）	須坂市	平成 15 年 9 月 19 日

(旧丸田医院)			
ふれあい館まゆぐら (旧田尻製糸)	大字須坂 387-2 (東横町)	須坂市	平成 15 年 9 月 19 日
田中本家博物館	大字小山 476 ほか (穀町)	(財) 田中本 家博物館	平成 15 年 9 月 19 日
塩屋醸造	大字須坂 537 (新町)	上原家	平成 19 年 5 月 15 日

4 図 書 館

位 置

須坂市大字須坂803番地 1

沿 革

大正12年 8 月 設立決議、創立具体的計画（皇太子殿下御成婚記念事業）
 大正15年 3 月 須坂町青年会により須坂小学校の一室に開館
 昭和14年 4 月 町に移管し、旧町役場の一室に移転。名称 町立須坂図書館
 昭和15年11月 篤志により基本図書の寄贈をうけ、内容の充実を図る。
 昭和23年11月 創立25周年、町立10周年を記念して第2次基本図書の充実を図る。
 昭和25年 6 月 分類をN D C (日本十進分類法)に変更
 昭和27年 6 月 自由開架式に改める。
 昭和30年 3 月 読書会指導者養成研修会と読書会普及運動を起こす。
 昭和30年 6 月 各支所へ配本所を設置する。4ヵ所
 昭和31年 7 月 史談会を発会、読書会連絡会を毎月開催
 昭和32年 9 月 読書会大会開催
 昭和33年12月 婦人会へ配本実施、市内各支部単位に毎月1回。
 昭和40年10月 市庁舎新築により、旧庁舎（分室を改築）あとへ移転し内容の充実を図る。
 昭和43年 7 月 須高母親文庫に須坂市の小学校 P T A が加入する。6校（45年9校、46年10校）
 昭和44年 2 月 高甫図書館を吸収する。
 昭和45年10月 須坂市で第20回長野県図書館大会開催
 昭和48年 4 月 図書配本車を購入し、配本業務を開始する。配本所26ヵ所（小学校、保育園、公会堂等）
 昭和53年 4 月 10歳未満の入館制限を廃止する。
 昭和55年 8 月 改築工事着工、翌年2月竣工。
 昭和56年 4 月 新館へ移転開館（4月5日）
 6 月 読み聞かせ、紙芝居会開始
 12月 お茶の間折紙会発足
 昭和58年 8 月 声のライブラリー開設により、視聴覚コーナーの充実を図る。
 昭和60年 4 月 母親文庫に市内中学校全員加入
 昭和62年 6 月 2階へ冷房装置設置
 6 月 録音室改造工事完了
 昭和63年10月 第38回長野県図書館大会開催
 平成元年 7 月 信濃毎日新聞のマイクロフィルム購入開始
 マイクロリーダープリンター購入

平成4年7月	1階へ冷房装置設置
平成6年3月	屋根修繕（塗装）工事
平成6年7月	図書配本車を更新する。
平成8年9月	外壁整備工事
平成9年7月	閉架書庫空調機・除湿機設置工事
平成10年3月	便所タイル修繕工事
平成10年7月	前庭整備工事（身障者用スロープ付け替え）
平成13年3月	図書電算化稼働
5月	インターネットによる予約申込み開始
平成14年9月	男子便所タイル修繕工事
平成15年3月	玄関自動ドア修繕
平成17年4月	すざかびとのコーナー開設
平成18年4月	平日の開館時間1時間延長実施
平成19年4月	祝日開館実施
7月	利用者カード変更、図書館システム更新
平成20年8月	駐輪場増設
平成21年7月	冷暖房設備改修工事
平成22年5月	旧ボイラー室改修工事（新聞庫を移設）

第2書庫開設（旧新聞庫）

施設の概要

敷地面積	1,122㎡	延床面積	1,088.00㎡				
主要施設	読書室1（閲覧席45）	美術室1	郷土資料室1	新聞庫1	書庫1		
	講習室1	事務室1	配本室1	図書整理室1	録音室1		

目 標

市民の教養、知識の糧として、また、情報センターとして図書館は市民誰もが気軽に活用できるように、市民と共に育つ図書館をモットーに広く資料の収集整備をするとともに、読者層を広め、読書グループの育成、援助を行い、もって図書館活動の推進をはかるため、5つの重点目標を掲げて住民への奉仕と目標達成に努めている。

重点目標

- (1) 図書館資料の活用、増大をはかる。
- (2) 児童図書、辞典、基本図書の充実整備をはかる。
- (3) 文化団体の育成及び援助を行う。
- (4) 仕事の能率化をはかり、情報化社会への対応に向け、利用者への奉仕活動を行う。
- (5) 地域公民館及び貸出文庫に広く配架し、市民サービスの向上に努める。

蔵書の状況

本館用図書冊数

23年度末現在（単位：冊）

分 類	22年度末	購 入	寄 贈	計	除 籍	総 冊 数
一般図書	81,125	2,005	112	83,242	1,075	82,167
小 説	6,921	757	9	7,687	9	7,678

参 考 図 書	4,730	121	2	4,853	21	4,832
郷 土 資 料	5,729	26	24	5,779	1	5,778
一 般 小 計	98,505	2,909	147	101,561	1,106	100,455
児童図書	27,460	751	16	28,227	246	27,981
絵 本	12,279	571	14	12,864	37	12,827
紙 芝 居	1,259	11	2	1,272	0	1,272
児 童 小 計	40,998	1,333	32	42,363	283	42,080
雑 誌	4,390	987	60	5,437	987	4,450
ビデオテープ	260	0	0	260	2	258
C D	1,141	104	2	1,247	7	1,240
テープ図書	397	0	0	397	0	397
D V D	920	102	1	1,023	0	1,023
行 政 資 料	1,507	0	6	1,513	0	1,513
本 館 計	148,118	5,435	248	153,801	2,385	151,416

配本所用図書冊数

単位：冊

区 分	22年度末	購 入	寄 贈	計	除 籍	総冊数
配 本 所 用	25,791	2,218	16	28,025	156	27,869

本館・配本所図書総冊数

単位：冊

区 分	22年度末	購 入	寄 贈	計	除 籍	総冊数
図書総冊数	173,909	7,653	264	181,826	2,541	179,285

図書館登録者数（23年度新規）

区 分	本 館（人）	地域館等（人）	PTA 文庫（人）	計（人）	団 体（団体）
登録総数	1,049	1,796	182	3,027	7

図書館の利用状況

図書貸出状況

（単位：冊）

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本館	個 人	20,432	21,600	15,986	25,299	23,739	21,024	22,445	21,428	19,746	20,965	22,210	22,838	257,712
	団 体	340	380	326	388	320	439	357	422	314	355	371	305	4,317
配本所	地域館等	1,425	1,613	1,938	1,495	1,220	1,887	1,687	1,804	1,775	1,295	1,154	1,217	18,510
	PTA 文庫	68	8	104	103	0	31	59	129	3	44	0	0	549
計		22,265	23,601	18,354	27,285	25,279	23,381	24,548	23,783	21,838	22,659	23,735	24,360	281,088

声のライブラリー朗読奉仕活動

朗読ボランティア「須坂あかりの会」の協力により作成した朗読テープを借用し、視覚障害者や読書の困難な方々に利用していただいている。

図書館利用状況の推移

年 度	年度末蔵書数 (冊)	登 録 者 総 数		貸 出 数 (冊)	市民一人当たり	
		団体 (団体)	個人 (人)		貸出冊数(冊)	蔵書冊数(冊)
19	159,356	190	16,500	251,288	4.70	2.98
20	164,206	206	17,110	273,310	5.13	3.08
21	169,524	226	18,886	278,680	5.26	3.20
22	173,909	233	19,768	274,262	5.19	3.29
23	179,285	240	20,900	281,088	5.35	3.41

5 博 物 館

位 置

須坂市臥竜二丁目4番1号

沿 革

昭和35年 市内の文化財収集はじまる。
 昭和41年 国庫補助を受けて、臥竜公園内に新築開館(総工費9,500,000円)。
 昭和45年 登録博物館となる。(2月20日付)
 第1回きこ展はじまる。
 昭和51年 堅穴式住居・勝善寺鬼瓦を館外に展示する。
 昭和54年 新館増築(総工費22,394,000円)
 昭和60年 考古展示室改装。
 昭和61年 須坂藩詰所一部を館外に展示する。考古室一部改装、本郷大塚古墳遺物全部展示
 昭和62年 考古室内冷房設置、養蚕・製糸室展示改装
 昭和63年 須坂藩関係室展示改装
 平成7年 1階展示室及び玄関改修
 平成15年 考古室内冷房更新
 平成16年 館内トイレ修繕、ステンドグラス保護工事
 平成22年 金属資料展示ケース空調設備修繕
 平成23年 ふれあい館まゆぐら2階に須坂市立博物館まゆぐら分館を設置。

施 設

敷地面積 1,195㎡ 構造 旧館 簡易耐火ブロック積長尺鉄板葺一部3階建
 新館 鉄骨造2階建
 延床面積 742.4㎡
 主要施設 須坂藩関係資料室、養蚕・製糸関係資料室、企画展示室、考古資料室、特別展示室、
 図書室、収蔵庫、事務室、物置、土器収蔵庫、整理作業室

所蔵資料

美術資料 4,367点 考古資料 1,160点 民俗資料 671点 歴史資料 359点

目 標

生涯学習の場として、わかりやすい展示、十分な資料の提供を行うとともに、児童・生徒には学習等の補助を行う。また市内に散在する文化財の調査・研究・保護・展示を行い、郷土の歴史・文化に対する関心を高める。

事 業

○常設展の資料を充実し、特別展・講演会・講座を開催し、学習活動をきめ細かく支援する。

○収蔵環境を整備する。

最近の事業

年度	特 別 展 示 活 動	博 物 館 講 座
21	企画展 「くらしに息づいた民窯と須坂藩窯德利・油壺と吉向焼～用と美と窯～」 特集展示 「上杉景勝の壊刀 須田満親への手紙」 共創展示 「なつかしの蓄音器」 特別展 「近代シルクロード起点のまち須坂」 企画展 「第40回きのこ展」 特集展示 「①春を謳 ^{うた} う 弥生の便り 須坂藩主堀家の雛人形と雛道具」 「②春を謳 ^{うた} う さくらの便り 須坂藩主堀直虎序文系譜のこころ」	臥竜山たんけん「臥竜山の自然散歩」他 全9回 特集展示説明会「堀直虎手ば本と国立国会図書館本 系譜の系譜について」 第1回 文化講座「善光寺縁起の絵解きと天地人ゆかりの須坂」 企画展 展示説明会『くらしに息づいた民窯と須坂藩窯德利・油壺と吉向焼 ～用と美と窯～』 企画展 現地学習会『吉向焼・鎌田窯と陶芸』 特集展示 展示説明会『上杉景勝の壊刀 須田満親への手紙』 特別展 展示説明会『近代シルクロード起点のまち須坂』 博物館歴史講座 現地学習会「天地人 郷土の武士 ^{もののふ} を訪ねて①、②」 第2回文化講座『須坂のまちをまるごと博物館に！』 博物館歴史講座 講演会『高井地方の中世史（4）～（6）』
22	特別展「国民読書年・信州岩波講座によせて 露伴・茂吉・寅彦と小林勇 ～作家・学者とある出版人の歩み～」 企画展 「第41回きのこ展」 新年特集展示「須坂藩主の新年の書き初め」 常設企画 「菓子の木型展」 特集展示 「愛でる須坂のさくら 須坂藩のお雛さまと須坂のすごろく 印籠・根付、系譜」 「桜花爛漫『博物館でさくら狩り』レカンフラワー・押花桜の写真展」	臥竜山たんけん「いろいろな鳥を探してみよう！」他 全9回 長野県博物館協議会 総会記念講演会『感動する博物館を！これからの博物館の任務と課題』 歴史講座講演会「高井地方の中世史 エピローグ 慶長・元和期の高井郡と須坂藩の成立」 歴史講座講演会 「高井地方の近世史① 幕藩制と庶民のくらし」 共催講座『博物館歴史講座・須坂市誌編さん文化講座（歴史編）全5回』 特別展講演会『小林勇の歩んだ道』 講演会『須坂市のきのこ』 館外講座『町並みたんけん』 館外講座『古墳たんけん』

		展示資料活用事業『第1回八丁鎧塚まつり』 文化講座『竹針蓄音器が奏でる昭和の名曲のしらべ』 博物館歴史講座『読み解き古文書』（全5回）
23	特別展『製糸の町と近代都市公園』 ～開池80周年 築かれた竜ヶ池～ 企画展「第42回きのこ展」 古川清行刀匠 作 直刀展示 小坂神社所蔵「銅製鰐口」特別公開展 示 冬の特別展示『クリスマス名作映画 ピックアップ展示』 新年特集展 新収蔵品『高橋町庚申講 関係資料』 特集展示「信州須坂春だより 雛と桜花 を愛でる 一須坂藩のお雛さまと蚤譜、 印籠・根付」	臥竜山たんけん「早朝の臥竜山で春をさがそう」他 全 9回 歴史講座 講演『高井地方の近世史② 江戸時代の教育 と子供たち』 歴史文化講座 高井地方の中世史 発刊記念講演会 『高井郡の須田氏家中について』 臥竜山物語 朗読会・紙芝居上演会 特別展講演会 興国寺拝観と講話・文化財探訪 『臥竜 山と興国寺の歴史探訪』 講演会『きのこ中毒の発生状況及び野生きのこの鑑別上 の注意点』 展示資料活用事業『第2回八丁鎧塚まつり』 冬の特別講座 郷土の先人に学ぶ 元気出そう！日本 『紙芝居で見つめる製糸王・越寿三郎』 鳥社会から学ぶ 子育て講演会「野山で遊ぼう～私と鳥 の出会い～」 特集展示関連イベント「邦楽の饗宴 ^{カルナバル} ～雛の調べ・桜花 の調べ～」

6 学校体育施設開放使用状況

（平成23年度延べ使用日数・回数）

学校名	体 育 館			運 動 場		
	①開放日数	②使用日数	③使用率 ②/① (%)	①開放日数	②使用日数	③使用率 ②/① (%)
須坂小	329	303	92.1	273	214	78.4
小山小	327	289	88.4			
森上小	326	266	81.6	274	88	32.1
日滝小	345	260	75.4	273	141	51.6
豊洲小	319	135	42.3	265	44	16.6
日野小	314	275	87.6	276	90	32.6
井上小	294	214	72.8	267	91	34.1
高甫小	289	248	85.8	264	77	29.2
旭ヶ丘小	353	263	74.5	261	84	32.2
仁礼小	336	257	76.5	202	23	11.4
豊丘小	310	92	29.7	17	10	58.8
常盤中	334 (354)	306 (160)	91.6 (45.2)	272	156	57.4

相森中	316 (342)	309 (236)	97.8 (69.0)	273	26	9.5
墨坂中	326 (256)	235 (201)	72.1 (78.5)	269	42	15.6
東 中	334 (348)	267 (241)	79.9 (69.3)	2	2	100
合 計	4,852 (1,300)	3,719 (838)	76.6 (64.5)	3,188	1,088	34.1

Ⅶ 人権同和教育課

1 人権同和教育推進計画

第1 推進の立場

須坂市では、同和対策事業特別措置法の施行（昭44）以来、部落差別の解決を基底に据えた同和教育を市民と共に取り組み、大きな成果を挙げてきた。

国は、「地域改善対策特定事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」の失効（平14・3）に先立ち、地域改善対策協議会の意見具申を受けて、「同和問題の早期解決に向けた今後の方策について」（平8・7）を閣議決定し、「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」（平12・12）を制定、さまざまな人権に関わる課題の解決に向けた教育及び啓発の推進について、各施策の根底・基本に置くべき課題（附帯決議）として充実した取組を求めている。また、国連の「人権教育のための世界プログラム」（平20～21）及び文部科学省所轄の「人権教育の指導方法等の在り方について[第三次とりまとめ]」（平20・3）によって、人権同和教育の推進を図っている。

須坂市においても、国の方針をふまえ、「須坂市部落差別撤廃・人権擁護に関する総合計画」（平12）、「人権教育のための国連10年須坂市行動計画」（平13）を策定し、人権同和教育を積極的に推進してきた。しかし、部落差別に関わる課題の解決は十分ではない。また、女性・子ども・高齢者・障がい者・外国人等さまざまな人権問題が生じている。これらの課題解決に向けた取組により、市民すべての人のしあわせを守る人権・交流のまちづくりの実現をめざし、教育と啓発に取り組んでいかなければならない。

第2 学習の目標及び実践指針

1 学習の目標

- （1）民主主義の実践として人権同和教育をとらえ、人権同和問題の学習を通して、豊かな人間性と社会連帯性を身につけ、より明るい社会を実現する。
- （2）部落差別の解決をはじめ、さまざまな人権課題の解決に取り組み、人権・交流のまちづくりを進める。
- （3）人権同和問題解決への明るい展望を確信し、一人ひとりの意識の高揚とあたたかな人間関係づくりを目指した学習を進める。

ア 差別の現実に学び、自らの課題として人権同和問題を解決していく学習

イ 人権感覚を養い、よりよい人間関係づくりを目指す学習

ウ 日常生活の中にあるさまざまな差別や偏見に気づき解決していくための学習

2 実践指針

（1）学校教育において

ア 児童・生徒の発達段階に即して、生活の中にあるさまざまな差別・人権問題を正しく認識させ、部落差別をはじめあらゆる差別を許さない「人権尊重の教育」を教育計画に明確に位置づけて実践する。

イ 対象地域（＊）児童・生徒の差別撤廃につながる学力の向上に努め、将来に展望がもてる進路保障を図る。

（2）社会教育において

ア すべての家庭、地域、企業・職場、団体・組織において市民総ぐるみの人権同和教育を推進し、

部落差別をはじめあらゆる差別をなくす必要性を社会生活や歴史に関連づけて認識し、差別を許さない明るい家庭、職場、地域づくりと、自主的・組織的活動の推進に努める。

イ 対象地域の人々による差別問題の解決をめざす活動の充実及び地域の人々との相互理解・交流をすすめるための諸活動の推進を図る。

＊ 対象地域・・・旧地域改善対策特定事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律（昭和62年法律第22号）第2条第1項に規定する地域改善対策特定事業が実施された地域をいう。

2 沿 革

昭和33年 7 月 1 日	須坂市部落解放審議会条例を公布施行し、部落解放審議会及び部落解放推進協議会発足。この頃公民館の重点事業に同和教育が組みこまれ、小中学校でも自発的に取り組まれるようになった。
昭和36年	公民館が冊子「部落についての50の質問」を発行
昭和41年度 ～昭和43年度	同和対策モデル地区事業が取り入れられ、同和対策事業が計画的に実施される基礎となった。
昭和44年 5 月	同和教育主事を公民館に配置
昭和45年	「須坂市同和対策事業長期計画」、昭和49年 2 月に「須坂市同和対策事業基本方針」及び「同和対策事業後期 5 ヶ年計画」、同年 5 月 1 日に「須坂市同和教育基本方針」を制定
昭和47年 4 月	「同和対策室」、昭和49年 4 月「同和教育係」が新設され、昭和49年10月それぞれ「同和対策課」「同和教育課」として発足
昭和49年 5 月	二睦解放子ども会発足
昭和49年 8 月	企業同和教育推進会議発足
昭和50年 3 月	「同和教育委員会」を設置 「須高小中学校同和教育指導計画（試案）」作成
昭和50年 5 月	本郷解放子ども会発足
昭和52年 3 月	「社会同和教育の手びき」作成
昭和52年 4 月	福島解放子ども会発足
昭和53年 3 月	冊子「れいめいー須坂市民のための同和教育ー」を発行、全戸配布
昭和54年 3 月	「れいめい」資料編作成
昭和56年12月	『須坂市を中心とした「資料による部落の歴史」（近世編）』作成
昭和57年 4 月	須坂市同和教育基本方針の一部改正
昭和58年 1 月	「同和教育指導計画（改訂版）」作成
昭和62年 4 月	須坂市同和教育基本方針を一部改正
平成 4 年 4 月	須坂市同和教育基本方針を一部改正
平成 6 年 3 月	「須坂市部落解放・人権尊重都市」宣言
平成 8 年 1 月	須坂市部落差別をはじめあらゆる差別撤廃・人権擁護に関する条例を公布 施行須坂市部落解放審議会条例を廃止
平成 8 年 4 月	須坂市同和教育基本方針を一部改正
平成 9 年 3 月	「同和問題に関する市民意識調査報告書」作成 同和教育委員会を廃止

平成9年4月	須坂市同和教育基本方針を一部改正
平成10年9月	同和教育推進指導員12名委嘱
平成11年6月	企業同和教育推進会議「企業が進める同和教育」発刊
平成11年9月	同和教育推進指導員5名委嘱（全17名に）
平成12年2月	「部落差別撤廃・人権擁護に関する総合計画」策定
平成13年2月	「人権教育のための国連10年須坂市行動計画」策定
平成13年4月	「同和教育課」を「人権同和教育課」に 「同和教育係」を「人権同和教育係」に 「同和対策課」を「人権同和政策課」に 「同和対策係」を「人権同和政策係」に名称変更 「同和教育推進指導員」を「人権同和教育推進指導員」に名称変更
平成13年6月	「部落解放推進委員会」を「人権のまちづくり推進委員会」に名称変更
平成14年3月	「人権同和教育指導計画」を改訂 解放子ども会同和教育推進教員配置廃止
平成14年4月	二睦・福島解放子ども会合同で開催 解放子ども会支援加配教員配置。 子ども会運営を保護者会で
平成14年5月	「企業同和教育推進会議」を「企業人権同和教育推進会議」に名称変更
平成15年4月	「解放子ども会」支援加配教員配置廃止
平成18年4月	「人権のまちづくり推進委員会」を「人権のまちづくり推進会議」に名称変更
平成19年1月	部落解放同盟須坂市協議会と共催し、「第1回人権を考える市民のつどい」を開催
平成20年4月	二睦・福島解放子ども会休会
平成21年4月	須坂市人権同和教育基本方針を一部改正
平成23年3月	「人権同和教育指導計画」を改訂

3 具体的事業

人権同和教育総務

事業名	事業の内容	実施時期
部落差別をはじめあらゆる差別撤廃・人権擁護審議会	人権同和教育の基本的事項について調査及び審議する。 委員13人	年間 (随時)
市職員人権同和問題研修会	市職員の人権同和問題の理解を深めるために研修会を開催する。	年間
人権同和教育連絡会	人権同和教育担当者の連絡調整を図るため開催する。	年間 (随時)
人権同和教育強調月間	小・中学生ポスター・標語の募集、展示 「部落差別をはじめあらゆる差別をなくす市民大集会」を開催する。	11月15日～ 12月14日

学校人権同和教育

事業名	事業の内容	実施時期
学校教職員の 人権同和教育研修	人権尊重を基本にし、児童・生徒の発達段階に即して一貫した人権同和教育を進めるため、研修会等を開催する。 ・校長との懇談会 ・学校人権同和教育主任会 ・須坂市への新任教職員人権同和教育研修会	6月 5月・10月 8月
学校人権同和 教育教材の配布	児童・生徒の同和教育の質的向上を図るため、啓発事業として副読本「あけぼの」を学校へ補充配布する。 ・小学校低学年用 1年生 ・小学校中学年用 3年生 ・小学校高学年用 5年生 ・中学生用 1年生	5月
人権同和教育 計画書等の発行・活用	・人権同和教育指導計画(カリキュラム・22年度改訂配布) ・人権同和教育計画書(年次計画) ・小・中学校標語集の発行	(年間使用) 5月 12月
人権同和教育 学校活動費の交付	学校人権同和教育の均衡ある発展と内容の充実を図るため交付金を交付する。 学校活動費 ・小学校 65,000円(均等割) ・中学校 65,000円(均等割) ・須坂支援学校 65,000円(均等割) ・地区校 10,000円×4校 160,000円(教員割) (学校PTA人権同和教育推進校上積) 30,000円×2校 中学校ブロック研修費 50,000円(均等割)	6月
学校PTA 人権同和教育推進校	・学校人権同和教育の充実を図るため、学校及びPTAの人権同和教育の実践の研究を推進する。 22年度 ・豊洲小学校 ・井上小学校 23年度 ・日野小学校 ・常盤中学校	年間

社会人権同和教育

事業名	事業の内容	実施時期
部落解放子ども会等 運営委員会	解放子ども会及び対象地域高校生学級等の運営について審議する。 委員7人	年1回
人権教育促進事業 (県補助1/2)	部落解放にたくましく立ちあがる児童・生徒を育てるための学習活動を実施する。また、人権教育推進のため、地域住民を対象に、同和問題を柱とした人権に関する学習機会の提供と各種交流活動を実施する。	年間
人権同和教育 指導者研修会	人権同和问题に対する指導者の養成を図るため、区長、公民館公民分館長、市部課長を対象とする研修会を開催する。	4月～5月
人権を考える市民の つどい	市民とともに人権について考え、人権が尊重される社会をめざし、実践力を身につけるため開催する。	2月

人権のまちづくり推進 会 議 の 指 導 育 成	人権のまちづくり推進会議活動を育成し、構成団体での取 り組みの強化充実を図る。	年間
企 業 人 権 同 和 教 育 推進会議の指導育成	企業人権同和教育推進会議活動を育成し、企業内での人権 同和教育の推進を図る。	年間
人権同和教育啓発資料 の発行	人間を大事にする明るい社会の実現をめざして、啓発資料 を全市民対象に発行する。	12月

4 都市宣言

須坂市部落解放・人権尊重都市宣言

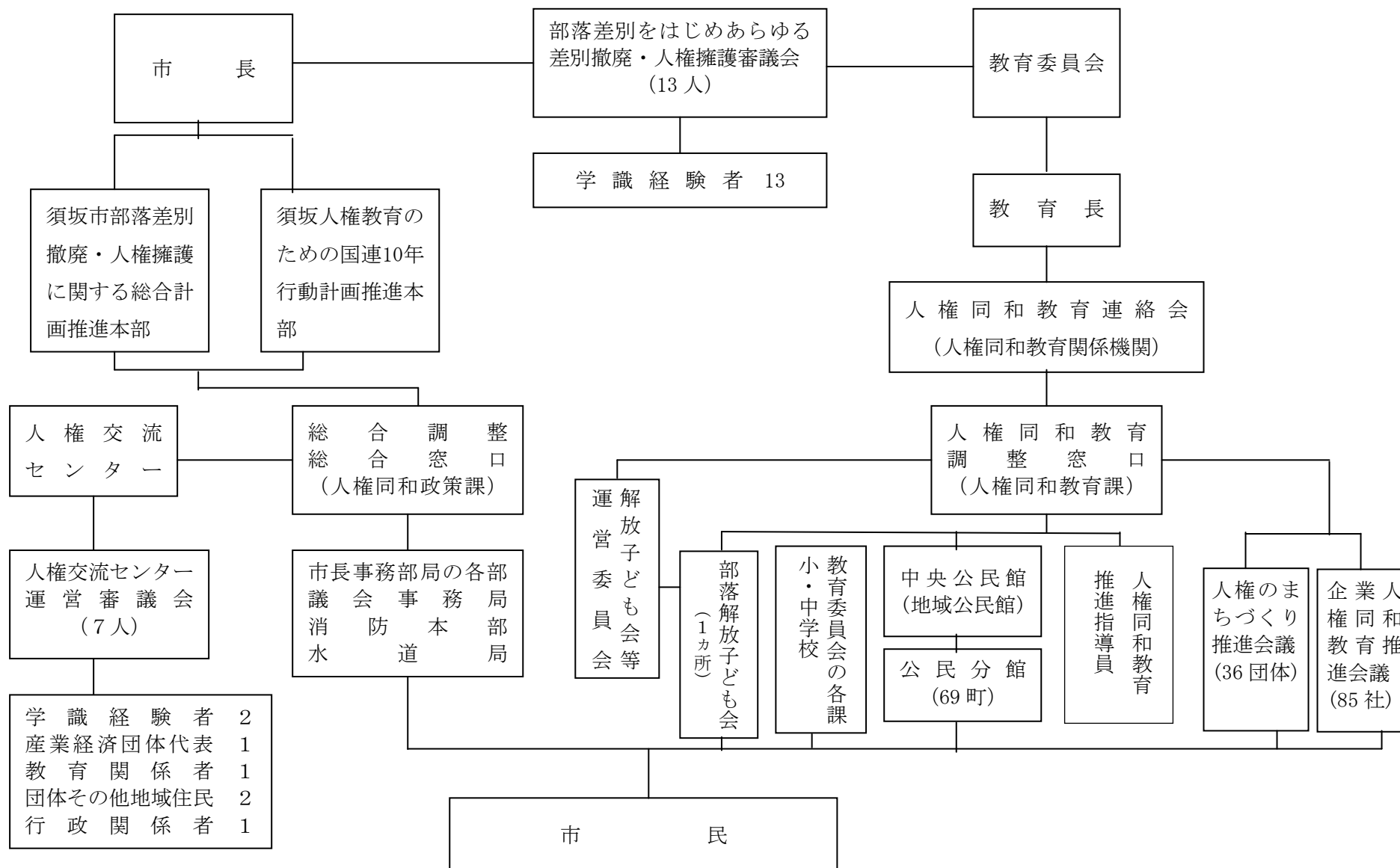
（平成6年3月22日）
宣 言

基本的人権が尊重され、自由で平等な社会の実現は、すべての人々の強い願いである。

しかしながら現実の社会生活においては、今なお、部落差別をはじめさまざまな差別が存在している。
人権が侵害されることは、いかなる理由があっても許されることではない。

よって、市民一人ひとりが自らの人権意識を高め、すべての人々の人権を守り、差別のない明るく住
みよい社会を築くため、ここに須坂市を「部落解放・人権尊重都市」とすることを宣言する。

5 須坂市人権同和行政機構図



VIII 歴代教育委員名簿

1 歴代教育委員

(1) 旧法による委員

年	委員長	副委員長	委 員	委 員	議会選出委員	教育長
27	11・1就 広田 豊治	11・1就 永井 正雄	11・1就 二ノ宮 一雄	11・1就 牧 武雄	11・1就 中島 義昭	11・1就 清水 虎治郎
28	” 2・10退	” 2・10退	” 2・10退	” 2・10退	” 2・10退	”
29	2・16就 永井 正雄	2・16就 二ノ宮 一雄	2・16就 広田 豊治	2・16就 松倉 専右エ門	3・16就 東山 真一 2・10退	”
30	” 9・30退	” 9・30退	” 9・30退	” 9・30退	2・16就 大瀬 今太郎 9・30退	” 9・30退
31	新法へ移行	新法へ移行	新法へ移行	新法へ移行	新法へ移行	新法へ移行
30・1・1以降 31・9・30まで 上記のほかに井上委員会選出委員 堀内 正 高甫委員会選出委員 松沢 令之助						

(2) 新法による委員

31	10・1就 広田 豊治	10・1就 松沢 令之助	10・1就 羽生田 薫	10・1就 神林 新治	10・1就 清水 虎治郎
32			9・30満了 10・1再任 羽生田 薫		5・7退 5・8就 山岸 吉治
33	1・31退 3・21就 青木 幹三 9・30満了 10・1就 秋田 実				
34		9・30満了 10・1再任 松沢 令之助	1・22退 3・16就 永戸 朋納		
35				9・30満了 10・1就 稲田 猶治	9・30満了
36	6・4退 12・19就 牧 茂助		9・30満了 10・1再任 永戸 朋納		4・1就 竹前 友治郎
37	9・30満了 10・1再任 牧 茂助			4・12退 6・20就 原 伊四郎	
38		1・15退 10・1就 丸田 倭文雄			
39				9・30満了 10・1就 城本 重男	

40			<u>9・30満了</u> 10・2再任 永戸 朋納		<u>3・31満了</u> 4・19就 永田 保
41	<u>9・30満了</u> 10・1再任 牧 茂助				
42		<u>9・30満了</u> 10・1再任 丸田 倭文雄			<u>1・16退</u> 3・17就 藤沢 晋一
43				<u>9・30満了</u> 10・1再任 城本 重男	
44			<u>10・1満了</u> 10・2就 森山 貞治		<u>4・18満了</u> 6・21就 大久保 寿一
45	<u>9・30満了</u> 10・1就 北村 功次				
46		<u>9・30満了</u> 10・1就 林 秀皓			
47				<u>9・30満了</u> 10・1就 青木 功	
48	<u>5・11退</u> 6・11就 北村 善三郎		<u>10・1満了</u>		<u>6・20満了</u> 6・21再任 大久保 寿一
49	<u>9・2退</u> 10・1就 花園 文治		4・1就 宮崎 裕司		
50		<u>9・30満了</u> 10・1就 市川 さくの			
51			<u>2・13退</u> 4・2就 北村 堯	<u>9・30満了</u> 10・1再任 青木 功	<u>1・23退</u> 6・11就 竹重 正生
52					<u>6・20満了</u> 6・21再任 竹重 正生
53	<u>9・30満了</u> 10・1再任 花園 文治		<u>3・31満了</u> 4・1再任 北村 堯		
54		<u>9・30満了</u> 10・1就 関 幸五郎			
55				<u>9・30満了</u> 10・1就 二ノ宮 信子	
56		<u>8・25退</u> 10・1就 青木 信夫			<u>6・20満了</u> 6・21再任 竹重 正生
57	<u>9・30満了</u> 10・1就 小坂 保司		<u>3・31満了</u> 4・1再任 北村 堯		
58		<u>9・30満了</u> 10・1再任 青木 信夫			

59				<u>9・30満了</u> 10・1就 広瀬 紀子	
60					<u>6・20満了</u> 6・21就 板倉 信一郎
61	<u>9・30満了</u> 10・1再任 小坂 保司		<u>3・31満了</u> 4・1就 岡部 義男		
62		<u>9・30満了</u> 10・1就 北村 俊男			
63				<u>9・30満了</u> 10・1就 町田 弘子	
元					<u>6・20満了</u> 6・21就 小林 英之
2	<u>9・30満了</u> 10・1就 上原 衛		<u>3・31満了</u> 4・1就 竹前 稀市		
3		<u>9・30満了</u> 10・1再任 北村 俊男			
4				<u>9・30満了</u> 10・1就 黒岩 照子	
5					<u>6・20満了</u> 6・21就 野口 徹男
6	<u>9・30満了</u> 10・1再任 上原 衛		<u>3・31満了</u> 4・1再任 竹前 稀市		
7		<u>9・30満了</u> 10・1就任 坂口 光男			
8				<u>9・30満了</u> 10・1就任 宮下 瑠美子	
9	<u>3・31退</u> 4・1就 中島 將之				<u>6・20満了</u> 6・21就 大久保 俊弘
10	<u>9・30満了</u> 10・1再任 中島 將之		<u>3・31満了</u> 4・1就任 宮本 経祥		
11		<u>9・30満了</u> 10・1就任 坂口 光男			
12				<u>9・30満了</u> 10・1就任 宮下 瑠美子	
13		<u>3・31退</u> 4・1就任 田川 榮			<u>6・20満了</u> 6・21再任 大久保 俊弘
14	<u>9・30満了</u> 10・1就任 西澤 一好		<u>3・31満了</u> 4・1再任 宮本 経祥	<u>9・30退</u> 10・1就任 川野 美知子	

15		<u>9・30満了</u> 10・1就任 田川 榮			
16				<u>9・30満了</u> 10・1再任 川野 美知子	
17					<u>6・20満了</u> 6・21就任 永井 和男
18	<u>9・30満了</u> 10・1再任 西澤 一好		<u>3・31満了</u> 4・1就任 渡邊 宣裕		
19		<u>9・30満了</u> 10・1就任 清水 美奈子			
20				<u>9・30満了</u> 10・1就任 湯本 由美	
21					<u>6・20満了</u> 6・21再任 永井 和男
22	<u>9・30満了</u> 10・1就任 業田 昭映		<u>3・31満了</u> 4・1再任 渡邊 宣裕		
23		<u>9・30満了</u> 10・1再任 清水 美奈子			

2 歴代委員長・職務代理・教育長

(1) 旧法による

年	委員長	副委員長	教育長
27	11・1就 広田 豊治	11・1就 永井 正雄	11・1就 清水 虎治郎
28	広田 豊治	永井 正雄	清水 虎治郎
29	2・10退 広田 豊治 3・31就 永井 正雄	2・10退 永井 正雄 3・31就 二ノ宮 一雄	清水 虎治郎
30	3・8退 永井 正雄 3・12就 二ノ宮 一雄	3・8退 二ノ宮 一雄 3・12就 松倉 専右門	清水 虎治郎
31	9・30退 二ノ宮 一雄	9・30退 松倉 専右門	9・30退 清水 虎治郎

(2) 新法による

年	委員長	委員長職務代理	教育長
31	10・1就 広田 豊治	10・1就 松沢 令之助	10・1就 清水 虎治郎
32	広田 豊治	松沢 令之助	5・7退 清水 虎治郎 5・8就 山岸 吉治
33	1・31退 広田 豊治 3・27就 松沢 令之助	3・27退 松沢 令之助 3・27就 神林 新治	山岸 吉治
34	松沢 令之助	神林 新治	山岸 吉治

35	松 沢 令之助		9・30退 10・1就	神 林 新 治 永 戸 朋 納	9・30退	山 岸 吉 治
36	松 沢 令之助			永 戸 朋 納	4・1就	竹 前 友 治 郎
37	松 沢 令之助			永 戸 朋 納		竹 前 友 治 郎
38	1・15退 7・9就	松 沢 令之助 永 戸 朋 納	7・8退 7・9就	永 戸 朋 納 牧 茂 助		竹 前 友 治 郎
39	永 戸 朋 納			牧 茂 助		竹 前 友 治 郎
年	委 員 長		委員長職務代理		教 育 長	
40	永 戸 朋 納			牧 茂 助	3・31退 4・1就	竹 前 友 治 郎 城 本 重 男
41	永 戸 朋 納			牧 茂 助		城 本 重 男
42	永 戸 朋 納			牧 茂 助		城 本 重 男
43	永 戸 朋 納			牧 茂 助		城 本 重 男
44	9・30退 10・1就	永 戸 朋 納 牧 茂 助	9・30退 10・1就	牧 茂 助 丸 田 倭 文 雄		城 本 重 男
45	9・30退 10・1就	牧 茂 助 丸 田 倭 文 雄	9・30退 10・1就	丸 田 倭 文 雄 大 久 保 寿 一		城 本 重 男
46	9・30退 10・1就	丸 田 倭 文 雄 大 久 保 寿 一	9・30退 10・1就	大 久 保 寿 一 森 山 貞 治		城 本 重 男
47	大 久 保 寿 一		・ 退 8・2就	森 山 貞 治 北 村 功 次	8・1退 8・2就	城 本 重 男 森 山 貞 治
48	大 久 保 寿 一		5・11退 6・25就	北 村 功 次 林 秀 皓	10・2退	森 山 貞 治
49	大 久 保 寿 一			林 秀 皓	4・2就	宮 崎 裕 司
50	大 久 保 寿 一		9・30退 10・6就	林 青 木 秀 皓 功		宮 崎 裕 司
51	1・23退 4・1就	大 久 保 寿 一 青 木 功	3・31退 4・1就	青 木 功 花 園 文 治	2・13退 4・2就	宮 崎 裕 司 北 村 堯
52	青 木 功			花 園 文 治		北 村 堯
53	青 木 功			花 園 文 治		北 村 堯
54	青 木 功			花 園 文 治		北 村 堯
55	9・30退 10・1就	青 木 功 花 園 文 治	9・30退 10・1就	花 園 文 治 竹 重 正 生		北 村 堯
56	花 園 文 治			竹 重 正 生		北 村 堯
57	9・30退 10・1就	花 園 文 治 竹 重 正 生	9・30退 10・1就	竹 重 正 生 青 木 信 夫		北 村 堯
58	竹 重 正 生			青 木 信 夫		北 村 堯
59	竹 重 正 生			青 木 信 夫		北 村 堯

60	6・20退 6・25就	竹 重 正 生 青 木 信 夫	6・20退 6・25就	青 木 信 夫 小 坂 保 司	北 村 堯
61		青 木 信 夫		小 坂 保 司	3・31退 4・2就 北 村 堯 岡 部 義 男
62	9・30退 10・1就	青 木 信 夫 小 坂 保 司	9・30退 10・1就	小 坂 保 司 板 倉 信 一 郎	岡 部 義 男
63		小 坂 保 司		板 倉 信 一 郎	岡 部 義 男
元		小 坂 保 司	6・20退 6・21就	板 倉 信 一 郎 小 林 英 之	岡 部 義 男
年	委 員 長		委員長職務代理		教 育 長
2	9・30退 10・1就	小 坂 保 司 小 林 英 之	9・30退 10・1就	小 林 英 之 北 村 俊 男	3・31退 4・2就 岡 部 義 男 竹 前 稀 市
3		小 林 英 之		北 村 俊 男	竹 前 稀 市
4		小 林 英 之		北 村 俊 男	竹 前 稀 市
5	6・20退 6・22就	小 林 英 之 北 村 俊 男	6・22退 6・22就	北 村 俊 男 上 原 衛	竹 前 稀 市
6		北 村 俊 男		上 原 衛	4・1再任 竹 前 稀 市
7	9・30退 10・3就	北 村 俊 男 北 村 俊 男 上 原 衛	10・3退 10・3就	上 原 衛 黒 岩 照 子	竹 前 稀 市
8		上 原 衛	9・30退 10・1就	黒 岩 照 子 野 口 徹 男	竹 前 稀 市
9	3・31退 4・1就 6・20退 6・25就	上 原 衛 野 口 徹 男 野 口 徹 男 坂 口 光 男	3・31退 4・1就 6・25退 6・25就	野 口 徹 男 坂 口 光 男 坂 口 光 男 宮 下 瑠 美 子	竹 前 稀 市
10		坂 口 光 男		宮 下 瑠 美 子	3・31退 4・1就 竹 前 稀 市 宮 本 経 祥
11		坂 口 光 男		宮 下 瑠 美 子	宮 本 経 祥
12		坂 口 光 男	9・30退 10・1就	宮 下 瑠 美 子 中 島 將 之	宮 本 経 祥
13	3・31退 4・1就	坂 口 光 男 中 島 將 之	3・31退 4・1就	中 島 將 之 大 久 保 俊 弘	宮 本 経 祥
14	9・30退 10・1就	中 島 將 之 中 島 將 之 大 久 保 俊 弘	9・30退 10・1就	大 久 保 俊 弘 大 久 保 俊 弘 田 川 榮	4・1再任 宮 本 経 祥
15		大 久 保 俊 弘		田 川 榮	宮 本 経 祥
16		大 久 保 俊 弘		田 川 榮	宮 本 経 祥
17	6.20退 6.21就	大 久 保 俊 弘 田 川 榮	6.20退 6.21就	田 川 榮 西 澤 一 好	宮 本 経 祥
18		田 川 榮		西 澤 一 好	3・31退 4・1就 宮 本 経 祥 渡 邊 宣 裕

19	9・30退 10・1就	田 川 榮 西 澤 一 好	9・30退 10・1就	西 澤 一 好 川 野 美 知 子	渡 邊 宣 裕
20		西 澤 一 好	9・30退 10. 1就	川 野 美 知 子 永 井 和 男	渡 邊 宣 裕
21		西 澤 一 好		永 井 和 男	渡 邊 宣 裕
22	9・30退 10・1就	西 澤 一 好 永 井 和 男	9・30退 10・1就	永 井 和 男 清 水 美 奈 子	4・1再任 渡 邊 宣 裕
23		永 井 和 男		清 水 美 奈 子	渡 邊 宣 裕

平成23年度

須坂市の教育

編集 須坂市教育委員会
